

BULLETIN

Kyushu BRANCH

Mar.2026

The Japan Institute of
Architects Kyushu brunch

九州で活躍する建築家のための情報誌

CONTENTS

- P.02 支部長挨拶
- P.03-04 記憶の中の建築
- P.05-06 JIA 建築家大会 2025 千葉
九州支部会員参加者アンケート
- P.07-13 事業レポート
- P.14-19 わさもん
- P.20-29 本部・支部事業委員会報告
- P.30-51 地域会報告
- P.52 入退会者情報
- P.53-55 編集後記

支部長挨拶



九州支部支部長 佐々木寿久

新春の候、皆様におかれましてはご清祥のことと存じます。日頃より JIA 活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。年明けすぐの寒波、九州でもマイナスの気温を記録した地域もございます。ぜひ体調にはお気をつけ下さい。

建築家大会を終えた 2025 年度は支部活動も平常に戻り、多くの事業を行っています。昨年 9 月 20 日、熊本住宅賞の公開審査と同時開催で地域交流会を熊本で行いました。多くの参加者が集い有意義な時間となったことをご報告します。

また、10 月 24 日～26 日、長年継続している教育活動・建築塾は北福岡地域会主導で門司にて開催し、日韓合同学生ワークショップと合同で開催することで、事業費・時間的制約も合理的な事業とする事が出来ました。両事業共に支部役員会を兼ねて行うことは、各地域会の皆様に知って頂けるきっかけと経費削減にもつながっていくことと思います。今後このように兼ねる事が出来る事業・イベントは地域会と支部とで合同開催を行っていききたいと思います。今後の 2025 年度九州支部事業は下記となっていますので、ご参加のほどよろしくお願い致します。

○九州建築新人賞 2 次審査・公開討論会・表彰式

○デザインレビュー 2026

○建築家賠償責任保険セミナー など

(事業に関する詳細は JIA 九州支部のホームページよりご覧ください)

昨年 11 月、大分県大分市佐賀関にて大規模火災が発生しました。大切な人命と多くの建物が失われ大変な災害となりました。昔ながらの狭い路地を取り巻く、建物火災による延焼が大きな原因の一つだったことは報道でも言われています。九州に限らずこのような街並みは日本に多く存在し、足を運んでみると景観の良さと懐かしさから、旅情に浸らせてくれます。

とりわけ、旅行者からの人気もあり、日本の観光資源の主軸の一つでしょう。しかしながら一方で木造建築密集地域の火災に対する弱さを露呈している事も事実でしょう。佐賀関の火災ばかりではなく、2016 年新潟県糸魚川市、

2022 年福岡県北九州市小倉北区旦過市場、2024 年石川県輪島市朝市通り（地震に起因するもの）など、多くの同条件での被害は少なくありません。

建築の木質化が叫ばれる今、都市の木質化ばかりではなく既存木造密集地域の防火対策も重要だと思います。行政主導の街づくりはもちろんですが、建築に携わる私たち一人一人の、一軒一軒での意識づくりを広げる事は、もっと重要だと考えます。景観を守りながら最新の技術を駆使する事は大変ですが、建築家にしかできないことの一つです。

木質化と防火、街づくりと意識づくり。この国の建築ストック課題解決に必要な要素だと思います。

日本の人口が減少している中、JIA 会員数も減少傾向にあります。九州支部は横這い傾向にありますが、全国的には減少しています。勿論人口だけの問題ではないのでしょうか。

今後 JIA の活動はより魅力的でありながら、会員サービスをいかに充実させるかだと思います。会員皆さんが、情報を見やすく取り出せ、そして参加できる会運営を心掛けていきます。

2025 年度事業も九州支部としては残り 1 ヶ月を切りました。JIA 九州支部はのびのびと春に向かって、皆様と共に進めてまいります。

島原文化会館



長崎地域会 佐々木 信明

建築に興味を持つようになるきっかけを思い返すと、ひとつの“音楽”とひとつの“建築”に行き着く。

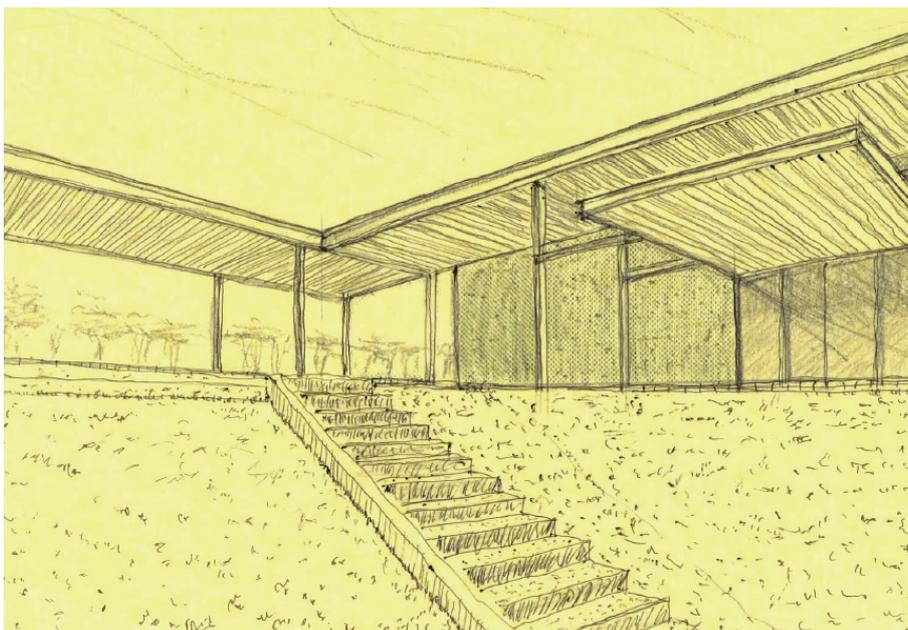
中学生の頃、サイモン&ガーファンクルのアルバム「明日にかける橋」(原題: Bridge over Troubled Water)をよく聴いていた。アルバムの中に「フランク・ロイド・ライトに捧げる歌」(原題: So Long, Frank Lloyd Wright)がある。歌詞について辞書を片手に読み解いてみた。“ライトって誰だろう?”と先生に尋ねると、「有名な建築家だよ」と教えてくれた。そのとき初めて「建築家」という仕事が世の中にあると知った。

高校2年生の時、通学路に島原文化会館の建設現場があった。島原城の敷地内に、背の高い仮囲いが立ち、クレーンが動く様子は当時の僕にはとても大きく見えた。“この大きな建物を建てる工事は、どのようにして誰が造っていくのだろうか、どんな建物ができるのか——”と、毎日通りかかるたびに気になって仕方なかった。

完成した建物は、島原では珍しいモダンな外観だった。スチールの回廊と真っ黒の外壁(正しくは濃いグレーだと思うが当時は黒に見えたのだ)とシャープなフォルム。お城を眺める大開口は当時島原ではみたことのない高さ4メートル超、長さは30メートル程のはめ殺しガラスの開口部。その開口部からお城がドーンと見えるようにホワイエが配置してある。内部を見るとホワイエの壁は朱色、他の空間のインテリアも黄色や青色などカラフルでビビッドな色使い。当時の僕には新鮮だった。

特に気に入ったのが建物中央の“サンクンガーデン(半地下の中庭)”だ。地盤より一段下がった広場のような場所で、上から光が落ちてくる。その周りをスチールの外部回廊が囲み、屋根がつくる影が時間によって変化する。放課後、よく階段に座ってぼんやり過ごした。何をしてもないが、不思議と落ち着く空間だった。

島原城の敷地内であって、メインアプローチの先にスチールの外部回廊。その視線の先に島原城の天守閣が見える。島原城が見える視界を遮らないように1200人を収容



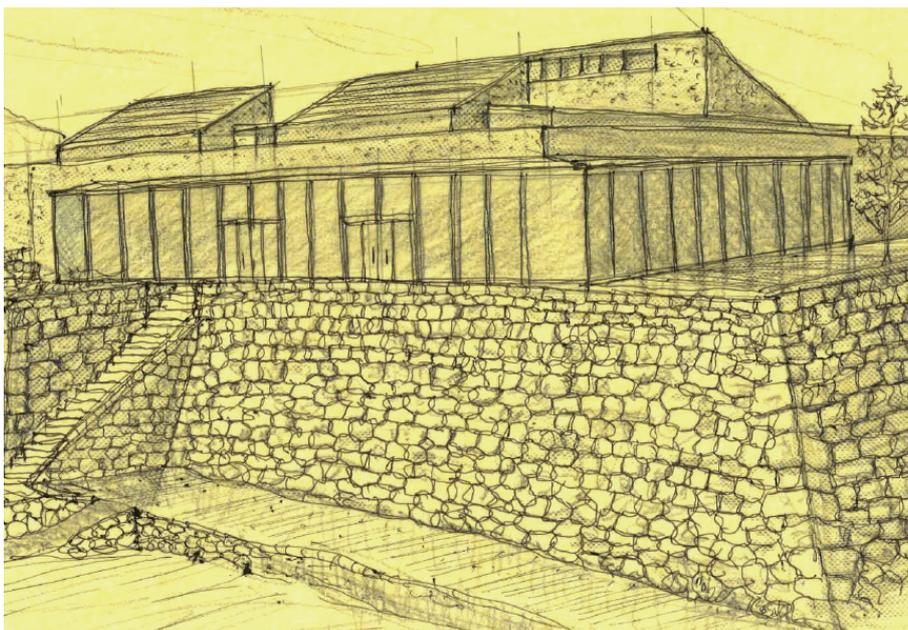
サンクンガーデンとスチールの回廊

するホールはじめとする全てのフロアーを地下一階に設定している。つまり 1200 人収容の大ホールを持つ施設では考えられないくらいプロセニウムが大きく張り出さない高さの建物である。そして文化会館側の敷地のどこから見ても建物のシルエットが邪魔することなく島原城がしっかりと見える。静かで控えめだが、細部まで緊張感をもった建築で、敷地や周辺環境の読み取りがとても繊細だと感じた。僕はこれの建物を見て、建物を設計する仕事と云うか設計ができる人になりたいと強く思った。その時の感情や思いが今の自分につながっている。

この島原文化会館は、長崎出身の建築家・武基雄氏の設計である。早稲田大学で教鞭をとり、藤井博巳、菊竹清訓ら多くの俊英を育て、多くの優れた建築作品を残している。有名なのは長崎市公会堂（現在は解体され長崎市新市庁舎が建っている）、長崎水族館。武基雄と云う建築家とその作品との出会いが、確実に今の僕になっている。

大学に進んでから、さらに驚くことがあった。なんとラッキーなことか武建築設計研究所のチーフデザイナーで島原文化会館の担当者である高津先生が、外部講師として僕の大学の設計製図を担当されていたのだ。授業を受けられるのは 3 年生からだったが、1 年の頃から隔週金曜・土曜に教室に通い続け、4 年間学ぶ機会を得た。あの文化会館をデザインした人から直接建築を学べたことは、本当に幸運だったと思う。

振り返ると、建築を目指すという“スイッチ”は、中学時代に聴いたあの曲で入り、高校時代に会った島原文化会館で“エンジン”がかかったのだと思う。特別なドラマがあったわけではないが、日常の風景の中に建築を意識させる瞬間がいくつも散らばっていた。僕の「記憶の中の建築」は”島原文化会館”。いまでも僕の建築デザインのエンジンを動かしている。

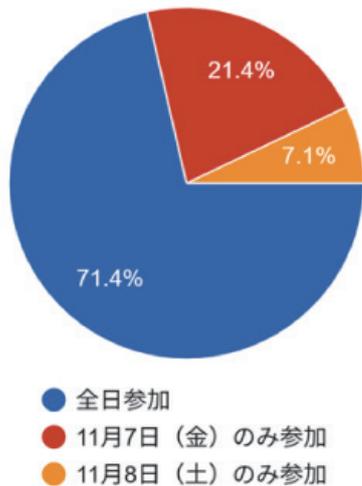


島原文化会館 島原城が見えるガラスのファサード

2025年11月に千葉市で開催されたJIA建築家大会2025千葉。大会テーマは「せんのちから」。千葉県文化会館を中心に、20を超えるトークセッションが開催され、これからの建築や地域について共に考える1,000人会議は今大会の見どころです。九州支部からJIA建築家大会2025千葉へ参加された方へアンケートを行い、皆さんの参加状況や大会の感想を伺いました。



■ 大会への参加日数は？



■ 人気トークセッションベスト3 (九州支部参加者が多かったもの)

- 1位 **S09 建築とテクノロジーの関係を問い直す**
—若手建築家が見据える設計の未来
- 2位 **S14 社会に発信する建築家のメディア実践を考える**
S20 偉大な先輩建築家に学ぶ Vol.10
大高正人—人と都市と建築
- 3位 **S01 歴史的意義ある建築の保存と誇るべき日本の景観**
～価値ある建物の保存・利活用を県民と考える＝県立図書館と大高建築～
S17 私にとっての「槇文彦」
S19 「建築家」ってだれですか？

アンケートで参加者が最も多かったのは「S09 建築とテクノロジーの関係を問い直す」でした。デジタル技術の普及期にキャリアを築いた若手建築家たちが登壇、生成AIやBIMがもたらす思考の変容、設計と製造の新たな関係、技術と創造性の接点についての議論が行われました。

次いで人気だったのは「S14 社会に発信する建築家のメディア実践を考える」。こちらはSNS等、積極的に新たな情報発信に取り組む建築家を、事例を紹介しながら今後の可能性を議論する、という内容。これからの「建築」をテーマとしたものに多くの方が興味を持たれたようです。また、千葉県文化会館の設計者である大高正人氏をテーマとしたトークセッションも人気の結果となりました。

■ 参加して良かったプログラムとその感想を教えてください。

S09 建築とテクノロジーの関係を問い直す
興味深く、九州でも議論していく必要性を感じた。

S19 「建築家」ってだれですか？
各団体のトップによる「建築家」のこれまでや現況・これからの話は、自身のこれからを考えるうえで非常に興味深く拝聴しました。もっと聞きたかったです。

M03 M07 注目の若手建築家による建築討論
若き建築家たちが今、何を思若き建築家たちが今、何を思考し挑戦しているのか。各支部から選出された10名のディスカッションはとても見応えがありました。司会進行の浅井東海支部長の誘導も素晴らしかった。

X01 建築文化に触れる「醤油のまち 野田の記憶と記録」講演・見学会
キッコウマン醤油と創業者の財力で野田の町が形成され、100年前の建物がほとんどそのまま使用されていることが素晴らしかった。

X02 JIA アーバントリップ 設計者と行く、ふたつの JIA 建築大賞 in 千葉
大賞受賞建築を見学しながら、プロセスや裏話など非常に興味深いお話を設計者とクライアントから拝聴できたとても有意義なツアーでした。



▲ 第104回JIAアーバントリップ/設計者と行く、ふたつのJIA建築大賞in千葉 山崎健太郎氏設計の高齢者施設「52間の縁側」を見学する参加者

■ 千葉大会のここが良かった！というところは？

- ・ 期間短縮でプログラム密度が濃かったところ
- ・ 会場となった千葉文化会館など見応えのある建築を体感できた
- ・ 会場が1か所であり、その建築が素晴らしいものであったこと
- ・ 会場設定が周辺を含めよかったです
- ・ 大会会場の千葉県文化会館と、皆さんのおもてなしが良かったです
- ・ 多くの建築家にお目にかかったこと
- ・ モノレール
- ・ ホキ美術館を見学できて、とってもよかったです！美しい建築でした
- ・ セッションの選択肢が多く視聴する側にとって選択肢の幅が広くて良かった
- ・ プログラムと冊子のつくり方
- ・ ガイドブックが濃密で素晴らしく、また装丁含めたデザインも良かった



◀ JIA 建築家大会 2025 千葉公式ガイドブック
全頁カラー印刷 208 ページにおよぶガイドブック。ブックカバーは折り加工が施され凝ったデザインとなっている。5つのテーマに分かれた22のトークセッションについて、各登壇者の思いや関連写真がふんだんに掲載され、とても見ごたえのある内容となっている。
定価 1,500 円＋税

■ こうだったら良かった…と感じたところは？

- ・ アクセスが悪かったのでタクシーの手配をしていただければ良かった
- ・ レセプション会場へのバス輸送は好ましくない
- ・ マグロ解体ショーの刺身にありつかなかったのが心残り
- ・ レセプションパーティーの食事やドリンクがもう少し豊富であれば良かった
- ・ 旧友との会話がができるサロンのようなスペースがあったら良かった

■ 千葉大会全体の感想

内容・時間的に各企画の密度が濃く非常によかったと思います。個人的に興味があるシンポジウムが重複している枠が多くあったのが少し残念でした。（とはいえ、実際は自分の都合で参加可能な時間が少なかったもので、いずれにしても参加できなかったのですが…）
栗生大会委員長、渡邊大会統括、鈴木実行委員長をはじめとする関東甲信越支部・千葉地域会の準備・運営に関わった皆様のおかげで、とても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

まず、建築家大会を2日間にされた決断と実行力に敬意を表します。短縮された感覚は全く感じませんでした。また、どれも魅力あるプログラムばかりで、22のセッションは本当に凄かった。見たいプログラムが重なっていて見れなかったのが残念だったので、アーカイブ動画をお願いできれば幸いです。

大会の新しい“あり方”を模索されてとても良い大会だった



アンケートへご協力いただきました皆様、ありがとうございました。
写真提供：下山道男会員

千葉の朝ごはん



野菜たっぷり、和洋折衷のバランスの良い朝ごはん



盛り付けがすばらしく美しい、お人柄がうかがわせる朝ごはん



こちらは電車移動しながらの朝ごはん、おつかれさまです



アーモンドミルクとたっぷりのサラダに健康への意識の高さを感じます



二日酔いの朝は、軽めの朝ごはん。楽しい夜を過ごされたのですね



フライドポテト、目玉焼きにはケチャップ、海鮮丼にプリン、やんちゃ感あふれる朝ごはん

遠征時のお楽しみである食事。千葉大会参加者の皆さんの朝ごはんを拝見させていただきました。左の写真の朝ごはんの主は、誰でしょう？ちなみにアンケート結果では、千葉で食べておいしかったものとして「ピーナッツ」がダントツのNo.1でした。写真のご協力をいただきました皆様、ありがとうございました！

朝ごはんの主

上段 下山さん(鹿児島)・小嶋さん(宮崎)・越山さん(宮崎)
下段 辻さん(鹿児島)・福田さん(福岡)・林田さん(熊本)

日韓合同学生ワークショップ 2025+ 第 24 回 JIA 九州建築塾 in 北九州



北福岡地域会実行委員長 高濱和久

公益社団法人日本建築家協会九州支部は、2025年10月24日(金)～10月26日(日)(2泊3日)の日程で、『第24回 JIA九州建築塾 in 北九州』を福岡県北九州市門司区で開催しました。九州各地より若手建築設計者11名の塾生が参加しました。今回は、主管である北福岡地域会が毎年開催している『建築展 日韓合同学生ワークショップ』と共催し、日韓の大学生と若手建築家がお互いに競い合う形式を取りました。

講師には昨年度のJIA新人賞を受賞された「玉田脇本建築設計事務所」の玉田誠・脇本夏子両氏をお招きし、補助講師として弊会会員である「古森弘一建築設計事務所」の古森弘一氏と進めてまいりました。

テーマは下記記載の『TIME SCAPE』とし、会場である門司港について、『時間』について考えながら、それぞれが単位を決めて、それを掘り下げていきました。

JIA九州建築塾はレクチャー、プレゼンテーション、ディスカッション、ワーキング等を合宿形式で昼夜行う集中的で高密度のプログラムです。これまで九州の各県、地域で計23回行われてきました。九州の設計界における様々な繋がりや発展を考え始めた本塾は、卒業生が二百名を超え、建築塾で培った経験をもとに全国で活躍しております。塾生には様々な視点から建築を考えることによって多様な展開を講師とともに模索し、新しい考えを吸収する力、決められた時間内に自分の考えをまとめる力を、またグループとして1つの案にまとめ上げることを目標とし成果品を求めました。

【テーマ】『TIME SCAPE』

「門司港」は明治時代に特別輸出港として異国との交易により栄え、料亭や花街が賑わい、映画館が立ち並び、街は人々で溢れ返りました。

昭和に入ると新しい交通網の発達により孤立化してしまった「門司港」は経済成長から取り残されるようになりました。

港や商店街、昭和の街並み、坂のまちなどの門司港の歴史を物語る特徴的なものが残る一方で、他の地方都市と同

様に人口減少と急速な高齢化、生活インフラの老朽化などの問題を抱えています。

本課題では『時間』について考えてみたいと思います。

それは直線的な不可逆的な時間を題材にするのではなく、空間・文化・営み・風景など、様々なものが繋ぐ時間について考えたいと思います。

現在の都市の消費されていくような、表層的な時間ではなく、過去と未来を繋いでいくような時間を、建築空間や都市空間から考えたいと思います。

それによって、時間と連続した都市の風景を描くことを目標とします。

First contact 2025/8/16 課題発表会

この日に『日韓合同学生ワークショップ+建築塾 課題発表会』を開催いたしました。

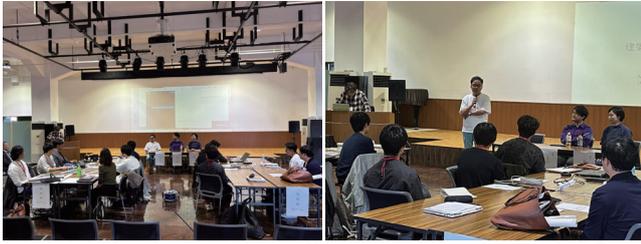
『日韓合同学生ワークショップ』では、門司港の街の歴史の継承とこれからの未来をつくるような建築を考える事とし、門司中央市場を対象として課題を与えました。例年通り、コンセプト、図面、模型等を成果品として求めました。

『建築塾』につきましては、課題を変え、『時間×単位』から門司港の街を描写し、『過去と未来』を接続する課題としました。学生と違い、数カ月かけて作品を作ることは出来ないため、門司港全体を対象としましたが、ドローイングを成果品として求めました。

塾生は当日、リモートにて初めて顔を合わせ、グループ分けも当日決めましたので、何をどうしていいか解らない状態だったと思われそうですが、グループ毎に、zoomにて会合を行い、10月24日の本番までに、自分が何の単位について調べるのかを決めて本番をむかえました。

次項へ続く

2025/10/24 1st day



開会式の様子

古森講師挨拶

■会場（旧大連航路上屋）集合～講師レクチャー

塾生、講師の面々が初顔合わせをし、グループ毎に、考えている案を発表。講師からのレクチャーを受けて、門司港探索へむかいました。

■現地探索

塾生は、講師と地域会員と共に現地探索にむかいました。門司港の街を歩きながら、地域の状況や高低差、周辺の建築物等を見ながら、また、同行した地域会員から話を聞きながら門司港を体感しました。周辺の建築物等を見ながら、また、同行した地域会員から話を聞きながら門司港を体感しました。

周辺の建築物等を見ながら、また、同行した地域会員から話を聞きながら門司港を体感しました。

■探索後講師レクチャー～ワークショップ

現地探索から戻り、塾生、講師が見て感じたものを発表。その後各グループ毎に、各自が事前に調べた事や、感じた事を紙に書きだし、まとめていく作業を行いました。

■懇親会

夜は会場近くの三井倶楽部にて、塾生、講師、北福岡地域会員を囲んでの懇親会を開きました。塾生は講師の御三方と色々な話で懇談し、講師、塾生の自己紹介も行い、懇親の場を深めました。

2025/10/25 2st day

■ワークショップ～日韓合同ワークショップ集合

午前中は、ワークショップの続きをし、各グループにて案をまとめていきました。日韓合同ワークショップに参加する学生達も、午前中のうちから集まりだし、会場はにぎやかになっていきました。

■日韓合同ワークショップ+建築塾開会式

午後から、日韓合同ワークショップを含めた開会式を開催。講師挨拶や、通訳の方々の紹介を行いました。

■講演会

講師の玉田誠氏と脇本夏子氏による講演会を開催しました。JIAの新人賞を受賞した『ROOF HOUSE』や現在手掛けている奄美の宿泊施設等を題材に講演をして頂き、弊会支部会員並びに韓国を含む多くの学生からも質疑があり、大盛況でした。

■講師レクチャー

講演会の後、講師が各大学及び塾生のテーブルを回り、作品について説明を聞き、レクチャーを行いました。このレクチャーにより講師から受けたアドバイス等を基に、翌日のプレゼンテーションにむけて各自、作業を進めました。



レクチャーの様子1

レクチャーの様子2

■懇親会

昨日のメンバーに加え、JIA九州支部役員と各大学教授参加しての大宴会となりました。松山前支部長の挨拶や韓国の新任教授のご紹介もあり大変盛り上がりしました。

2025/10/26 3rd day

■クリティーク～レクチャー

- ①東義大学
- ②慶星大学
- ③近畿大学
- ④日本文理大学
- ⑤北九州市立大学
- ⑥九州産業大学
- ⑦建築塾Bグループ
- ⑧九州工業大学
- ⑨東西大学
- ⑩釜慶大学
- ⑪釜山大学
- ⑫東亜大学

■表彰式

各大学と塾生のクリティークからのレクチャーが終了し、各賞の審査終了後、表彰式を開催しました。講師からの全体講評があり、各賞の発表を行いました。

■各賞受賞チーム

- 玉田 誠賞： 慶星大学
- 脇本夏子賞： 北九州市立大学
- KIA 会長賞： 近畿大学
- JIA 奨励賞： 釜山大学
- 最優秀賞： 九州産業大学

審査は、満場一致という作品のない均衡した状態でしたが、各チームの個性あふれる作品の数々は我々を圧倒するものでした。

中でも、最優秀賞を受賞した九州産業大学は、門司中央市場の店舗と通路を逆転させ、中央に店舗を配置し両側から入れるようにし、周囲に解放感を与える素晴らしい案でした。何より、模型の出来が素晴らしかったです。

■交流会

表彰式のあとに、講師、学生、塾生、弊会会員を囲んでの交流会を開きました。これは、日韓の各大学や講師とも直に触れ合い交流する機会を設けたもので、今年もにぎやかな交流会となりました。



集合写真

総評

『日韓合同学生ワークショップ』につきましては、私は2度目の実行委員長を務めることとなり、しかも、今回は支部行事の『建築塾』まで行うという事で、年末に指名してきました塩釜地域会長を恨みました。(笑)

4月頃から、弊会実行委員の面々と協議を重ね、玉田誠氏、脇本夏子氏、それと弊会会員でもあります古森弘一氏にも、快く講師の大役を受諾頂き、大変感謝しております。

毎年行っている『日韓合同学生ワークショップ』は、実行委員もほぼ毎年同じメンバーで構成されますので、各委員には、毎年行って頂いている役割分担をし、出来るだけ不都合のないようにしてきたつもりですが、やはり、実行委員長が抜けている分、皆さんに負担を掛けてしまっていて大変申し訳なく思っております。

今回、『建築塾』を併会するにあたり、一度も参加、拝見してない私は、戸惑ってしまいましたし、塾生達は『日韓合同学生ワークショップ』と同じ課題にしてしまうと、学生の準備期間や熱量に圧倒されてしまうと感じ、課題と成果品を分けた事も、功を奏したのか、毎年共催していただいております北九州市の山内指導部長も初めて来場頂き、お褒めの御言葉を頂きましたので、安堵した次第でございますと共に、弊会で開催するイベントに新しい風が吹いてきたような気がしております。

九州支部の皆様にも御参加いただきました『日韓合同学生ワークショップ+建築塾』は如何でしたでしょうか？今後も弊会は、国際交流、若手建築家の育成を目的に邁進して参りたいと思っております。

平戸田助を訪れて



長崎地域会 三好定和

平戸の副港として栄えた田助を最初に訪れたのは、平成27年9月なのでもう11年前になる。登録有形文化財でもあった旧角屋や永山家住宅（現：明石屋）を長崎県のまちづくり景観資産登録にするためにその現地審査に来た時以来になった。旧角屋は「角屋ヘリテージ」として宿泊施設に再生され一泊ゆったりとした時間を過ごすことができた。

木造2階建て入母屋造の建物で明治時代に建てられ、元は回船問屋「角屋」で、主人の多々良孝平は西郷隆盛や高杉晋作、桂小五郎とも親交があったと聞く。2階は海側と道路側両方に部屋があって下地窓や手摺の飾りにマツ、欄間にタケとウメをあしらうなど古風な作りが残っている。四方柱の柱があったが今は間仕切りに隠れ見つけることができない。所有者は、欧州の人だったが、古民家の魅力をよく理解していて、古材の中に混じる新材もあえて古色に塗ることは避けていて、相当分かっている専門家が助言していることに違いない。塗り込んだ壁下地の印刷紙を額縁に入れて見せたり、小屋裏を上手に見せ剥いだ天井板を他の部屋の天井の補修に使ったりと、下手な日本人よりはるかに日本の古民家の良さを理解し活用している。土間

モルタルの精度もすごかったが、修理職人は3キロ〜5キロの範囲内で手配できるようにしているとのこと全てが完璧だと感じた。

食事は近くの「明石屋」、旧永山家住宅だったがここも「幕末の志士たちの密談場所、隠し部屋や緊急時に隣に逃げる脱出口があり、坂本龍馬がこの家の2階で密談した」とあり、なかなかの歴史に思いを馳せることとなった。2階の座敷にも案内されたが、床柱はタガヤサン（鉄刀木）で一見に値する。交易が盛んだった長崎では比較的著名料亭で見ること多いがこの田助で見ることになるとは思っていなかった。明石屋という屋号でこちらも回船問屋を営んでいたこともあって、2階の小屋組から荷物を引き上げるのに用いたと思われる装置もあって面白い。



明石屋床柱：タガヤサン（鉄刀木）

明石屋2階座敷



角屋ヘリテージ外観

二つの建物は建てられた当時の状態が良好に保たれ、田助港の眺望、周辺環境も優れ、まちの指標となる存在で、見る機会を得られたことに感謝したい。ぜひ平戸に来られることがあったら足をのぼして見ていただきたい。



角屋ヘリテージの待合ホール



客室

壁下地の額

JIA 九州ブルテン



大分地域会 地域会長 竹宮浩一郎

ブルテン編集部より「地域会自慢にて優勝した件」については是非寄稿してほしいとの依頼がありましたので、ウラ話を含めて筆を執ります。

当初、『九州支部総会内にて地域会の自慢を発表する』と聞いた時、「この忙しい時期に大変そうな企画が…」とつい顔をしかめてしまったのが本音です。

そうだ、前ははどうだったのだろうと重田前会長に尋ねたところ「若手建築家組織+Aについて発表して優勝したよ」とさりりと回答。余計にプレッシャーを感じ、聞くのではなかったと少し後悔しました。

さて、何について自慢すべきだろうか。ふと、他地域会との交流から協力会員数の話をしたことを思い出し、大分地域会では協力会員が毎年増加していること、正会員の約2倍の人数が加入していることから、九州支部内の協力会員数と正会員数の比率をテーマに、協力会員との繋がりや強さを発表しようと思いつきました。

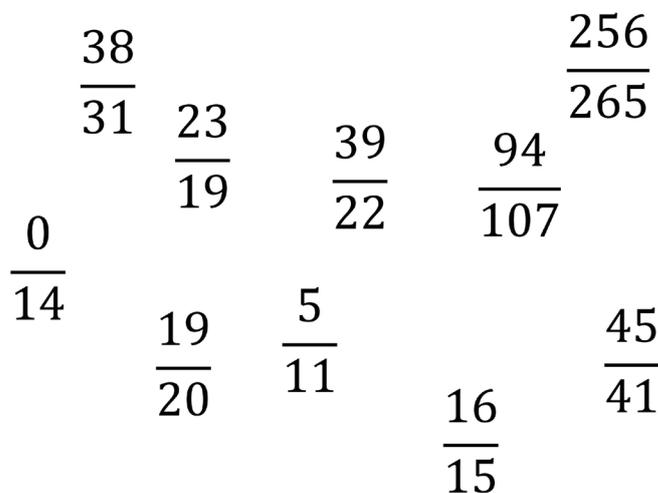
早速、九州支部各地域会の正会員数と協力会員数を調べ上げ、分母には協力会員数、分子には正会員数を入力。この比率をグラフ化し「数字がうごめく」怪しいプレゼン資料を仕上げました。

発表当日、前回優勝したため順番は最後。他地域会の自慢合戦が長引くのを見て、これは短期決戦、一点突破で臨んだ方が良くと虎視眈々と狙っておりました。

いよいよ発表が始まり、各地域会の「分数」が一斉に動き出すと、協力会員がゼロの熊本地域会から、早くもざわつく気配が。次に5年前の大分地域会の分数(23/19)、そして現在の分数(39/22)、最後に九州支部全体と大分の比較を説明し、締め言葉まで時間内で終わらせることができました。

最終的には優勝をつかみ取り、鮎川さんからお褒めの言葉を頂いた事が大変嬉しく思いました。なお、賞金として頂いた日本酒は勝利の美酒として格別の美味しさでした。ただ一つ悩ましいのは、次回の地域会自慢へのハードルがまた一段と上がってしまったこと。今後の地域会活動にて次に自慢できる何かを皆で作り上げていきたいと思えます。

ちなみに、10月末現在で協力会員数は41社に増えております。



学び舎としての JIA—かごしまオープンレクチャー



鹿児島地域会 代表幹事 薩摩 徹

JIA 九州支部鹿児島地域会は、2020年8月から、誰でも参加できるオープンレクチャーをはじめ、このコロナ期も含めた五年間で19回のレクチャー〔台風来襲で1回は休会〕を計画・実施してきた。オープンレクチャー以外の講演を含めると、おおよそ年6回以上、鹿児島で建築のレクチャーを実施している。私は、東京の組織事務所に勤務していたときに関東甲信越支部都市デザイン部会に誘われ、毎回、貴重な話を聞く機会に恵まれ、JIAに入会する契機となった。2013年に鹿児島大学に転職し鹿児島地域会に参加すると、事務連絡的な打合せが多く、情報を得るような機会が少ないことに気づき、当時の肥後代表幹事に提案、このオープンレクチャーが実現した。今でも、地域会の会員増につながらないかとの考えから、誰でも聴講できることとし、1コイン（500円）で、継続している。

最初のレクチャーは、第一工科大学の堀口譲司教授の「劇場空間のコスモロジー」ではじめ、その後、「自作を語る」として建築家高安重一、中原佑二、中俣 知大らの地域の建築家、福岡や長崎の建築家や佐藤会長、鹿児島大学に着任した細海准教授、島嶼の建築家らに登壇をお願いしてきた。2023年から高安会員がオープンレクチャーの担当となり、鹿児島に来られる機会のある建築家やアーティストにも広げ、レクチャーが一層充実しつつある。なかでも地域会総会時に開催した、鹿児島の和紙デザイナーの薩摩和紙製作所主宰の原口敬子氏のレクチャーは、実物が持ち込まれ記憶に残るオープンレクチャーとなった。



薩摩和紙ホームページより <http://satsumawashi.com/works.jp.html>

このオープンレクチャーは、鹿児島は島嶼や地域の拠点が点在していることから、WEBでも配信し、遠距離の会員や、一般・学生も聴講することが可能としている。最近、若手の会員から「JIAは勉強になる」との声があり、より充実できればと思う今日このごろである。



レクチャー終了後、参加者が原口敬子氏を質問攻めに

2020年8月18日	劇場空間のコスモロジー	堀口 譲司
2020年10月9日	自作を語る	高安 重一
2021年3月26日	自作を語る	中原 佑二
2021年7月2日	国宝の茶室三題と近年の和風建築	中俣 知大
2021年11月21日	木質化・自作を語る	鮎川 透
2022年7月22日	母性原理的建築	佐々木 信明・佐々木 翔
2023年2月10日	自作を語る	佐藤 尚巳
2023年4月25日	時間と重力	細海 拓也
2023年5月26日	鹿児島の近代建築その一部分を解き明かす	岩田 幸千
2023年8月18日	建築を透かして見る	岩下 真奈美
2024年1月16日	映画と建築	堀口 譲司
2024年4月16日	守破離 一和紙が織り成す温もりと美一	原口 敬子
2024年7月12日	素材を考えることで見える風景	細久 仁
2024年8月30日	自然さ・発見的であること、開かれているということ-	南 俊允
2024年10月11日	Unusual	齋藤 隆太郎
2025年1月28日	"冒険としてのアート 失敗と挑戦"	戸高 千世子・徳永 健至
2025年4月14日	災いから学ぶ構造デザイン	黒岩 裕樹
2025年6月19日	小さな宇宙『薩摩ボタン』と出会って	室田 志保
2025年9月21日	"Off the Grid. On the Island"	酒井 一徳



正会員 2024年8月入会
かの まさと
加野 正知（福岡地域会）

昨年度、JIAに入会しました加野と申します。

私は、梓設計に所属しております。入社後、東京本社で約8年間勤務したのち、地元の九州支社で約12年勤務しております。設計をはじめてからあつという間に20年が経ってしまいましたが、建築の世界は広く深く、常に学ぶことばかりです。

近年は、主にスポーツ施設の設計に関わっておりまして、最近ではSAGA サンライズパークを担当しました。SAGA サンライズパークはアリーナやプール、陸上競技場などの建築と周辺の道路や歩道橋も含めた一体的な整備事業でした。私自身、これまで経験したことがないような規模で、非常に多くの関係者とともに取り組んだプロジェクトで様々な困難があったのですが、とても大きな学びを得ることができました。それは、境界を超えることの重要性です。

ハード面では、通常はそれぞれ設計・施工される建築と土木を一体的につくり、ソフト面では、事業や運営的な視点をもって建築をつくることで、完成後、使われ始めて成果が目に見える形で現れました。イベント時の賑わいはもちろん、日常的に人々が憩う姿がまちの風景の一部となりました。

今後もまちに新たな価値を生み出す建築づくりを目指して、JIAを通して、建築の専門性を高めながら、幅広い視野をもって、研鑽を積んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひします。



SAGA サンライズパーク



正会員 2024年9月入会
 やばし とおる
矢橋 徹（熊本地域会）

この度 JIA に入会しました矢橋徹と申します。

家業の影響もあり、建設や土木が身近な環境で育ちました。学生時代に現在も第一線で活躍されている塩塚隆生さんに出会い、恩師・長谷雄聖さんに建築の魅力をさらに広げていただいたことで、建築家としての根幹が形づくられました。卒業後は前田圭介さんのもとの実務、そして多くのエンジニアや職人の方々との協働を通じて、建築に対する姿勢を育てていただきました。

2013年に矢橋徹建築設計事務所を開設し、熊本を拠点に地域固有の環境から建築の生成的なあり方を探る実践を続けています。建築を環境と人の関係を媒介する「部位」として捉えることを基軸とし、閉じた形式としてではなく、治具（ジグ）のように使いながら意味が育つ枠組みとして捉えることで、地域の日常をそっと支えるニュートラルな建築を目指しています。

近年は住宅、商業施設、福祉施設など幅広い計画に取り組みながら、異なる領域を緩やかに接続する建築を模索しています。その取り組みが実を結び、2024年第1回 JIA 九州建築新人賞を受賞することができました。

JIA 熊本地域会では「熊本の建築家作品展」を担当し、プロセスや未完の構想も共有する開かれた批評空間づくりを実践してきました。今後も展覧会やレクチャー企画、若手建築家との議論の場づくりに携わり、地域の建築文化を更新する活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



江津ハウス 撮影：八代写真事務所



正会員 2024年10月入会

みつうら たかふみ

光浦 高史（大分地域会）

大分県別府市を主な拠点に、東京でもプロジェクトが進行しているためサブ拠点を置き、「Office West（別府）」「Office East（東京）」として活動しています。設計部門は7名、全体で私を含め12名。出身地も経歴も多様で、その混ざり方自体が、事務所の面白さになってきました。

私は神奈川県川崎市出身です。磯崎新さん設計のアートプラザが再生されたことをきっかけに、学生時代の恩師からご縁をいただき、当時は大分を拠点としていた青木茂さん（青木茂建築工房）の事務所に入り、約7年、リファイニング建築や地域再生、全国規模のワークショップ運営、研究活動などを通して、建築を「つくる」だけでなく「受け継ぎ、編み直し、社会にひらく」ことを学びました。

退社後は関東には帰らず大分で独立。当初は縁の少ない土地からでしたが、生活のため学習塾で働きながら、少しずつ仕事をいただき実績を積みました。やがて先輩の池浦順一郎さんに声を掛けていただき、二人とも名前に「浦」がつくことと、考案したコンセプトを重ねて「DABURA」と命名し活動を開始。のちに池浦さんとは体制を分け、私はDABURA.m株式会社として歩みを進め、二つの大学で設計製図の非常勤講師も務めています。

宿泊施設の設計が多く、増える転機となったのが別府市の「テラス御堂原」です。以降、「GALLERIA MIDO BARU」など様々な案件へとつながりました。多くのクライアント、協力者に支えられ、今も建築に携わられていることを幸せに感じています。

新築に加え、空間再生にも力を入れています。例えば「大分銀行赤レンガ館」では、戦災の痕跡も含むレンガ壁面を表出させるなど、時間の層そのものを空間に表しました。別府のOffice Westも、築45年（当時）の建物を購入し、耐震再生を行って建築確認を取得し、自社で宿+複合文化拠点「HAJIMARI Beppu」を運営しています。「壊す」以外の選択肢を、実践として示したいと思ったからです。

地域デザインとしては、屋台や家具のような可動的要素をまちに持ち出し、場を立ち上げる試みを続けています。OPAM前の道路空間を広場に見立て、小さな“まち”を出現させた社会実験「カドウ建築の宴」も、その延長線上にあります。

法人化10周年を機に、2025年9月に社名を「ハジマリアーキテクツ」へ変更しました。ミッションは「“場”のちからを呼び覚まし、《ハジマリ》をひらく」。この10年の探究をMVVとして言語化し、増えてきた仲間と共有しながら、創作の基盤にしています。

このたび第1回九州建築新人賞のご縁もありJIA九州支部に入会いたしました。素晴らしい先輩方と学び合えることが楽しみです。土地と既存空間、そして関わる人々の特質を読み取り、「その時、その場所」でしか生まれ得ない固有性を、未来・世界へ手渡せる普遍性へと結び直す——そんな建築と地域を、これからも実現していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



GALLERIA MIDO BARU



正会員 2025年4月入会
とくなが けんじ
徳永 健至 (鹿児島地域会)

このたび入会しました徳永健至と申します。

京都府宇治市で生まれ育ち、京都大学、同大学院にて建築を学びました。卒業後は東京の團紀彦さんの事務所で修行、様々な経験をさせていただき、事務所を出たり入ったりしながら様々な現場を経験しましたが、2011年に現在のパートナーと出会って工房のある鹿児島県霧島市に移住、そこで設計事務所を開設して現在に至ります。この出会いにより自分自身もアートの世界に片足を置くことになり、以後全ての作品の構想、制作、展示で協働しています。また知人の伝手で地元の鹿児島高専で建築系の非常勤講師を務めることになったことを端緒に教育にも関わりが出来、4年前から地元の私立大学（第一工科大学）で教授職に就き、建築意匠を教えています。

京都大学では故・加藤邦男先生の研究室で建築論・場所論の薫陶を受けつつ一年間のパリ留学を行い、修士論文ではパリの囲壁外集落 Faubourg (フォブール) をテーマにその歴史を研究しました。その後の團紀彦さんの事務所では建築の設計監理のほか、千葉県柏の葉駅前再開発計画や、愛知万博 2005 の会場計画などに関わらせていただきました。

鹿児島に移ってからは、住宅、幼稚園などの設計を行なっていますが、次第にアートの割合が多くなってきているのを感じています。パートナーである現代美術作家の戸高千世子とは先日、共同名義として「Studio CtKt」を立ち上げたところです。

何か一つの分野に居着くことがなく、様々な方向に手を伸ばす傾向があります。よく言えば横断的ですが、特定の強みがないとも。加えて集団行動が苦手で、あまり JIA 向きの人間ではありません。ですが、社会の中を見まわしたとき真摯な建築設計者ほど貴重で、信頼でき、愛すべき存在もないのではと思っています。深い知識と高い技術を持ちつつ、ハードワークと社会的責任の重圧に耐え、さらには清貧にも耐えつつ、ユーモアと冒険心を忘れない建築家の皆さんに敬意を表します。私もその中の一員となれば幸いです。どうか宜しくお願いいたします。



上:「はららの家」2014
下:戸高千世子「後久さんの田んぼ」2017 (アートワーク)



「CUBE」2025 (アートワーク)



専門会員 2025年3月入会

つじ きよし
辻 潔 (鹿児島地域会)

皆様はじめまして。鹿児島地域会に専門会員として、2025年3月に入会いたしました、辻潔(つじきよし)と申します。よろしくお願いいたします。

現在は霧島市の第一工科大学 工学部 建築デザイン学科の教授としておもに、建築環境工学を教えています。他に、建築設備、建築積算、福祉住環境計画、建築情報学を担当しています。前職は、福岡のZen設計事務所で意匠設計、集建築事務所で建築積算の仕事に従事していました。年齢は2025年の5月に60歳となりました(笑)。

好きな物は、映画(特に法廷モノ)。好きな食べ物は、鳥刺し、霧島牛の焼肉です。建築家協会の活動も始めたばかりですので、色々なイベントに参加をして、自分の強みを生かしながら、協会の発展のお手伝いをいたしたいと思っています。

今後ともよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、自己紹介とさせていただきます。



ジュニア会員 2025年9月入会

おう いしやう
王 暉昌 (福岡地域会)

みなさん、こんにちは。この度、JIAに入会いたしました、台湾出身の王と申します。

台湾の大学を卒業後に来日し、現在は福岡の建築設計事務所にて建築デザイナーとして勤務しております。これまで、共同住宅、事務所ビル、老人ホームなどの設計に携わってまいりました。普段携わっている意匠設計はもちろん、設備設計者や構造設計者と連携を取りながら設計していく中で、プロジェクトごとに難しい課題を解けるには、通用若しくは汎用の解答がなくその敷地、その建物にしか対応できない解答を探していくしかありません。また、詳細納まりや色を検討する際に、建材や工法は日進月歩であり、常に学び続ける姿勢が求められる奥深い仕事だと実感しております。それらをきっかけに入会を決意いたしました。JIAを通じてさまざまな講演会や活動を通じて、学ばせていただき、さらなる専門性の向上を目指しております。

未熟ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。



思い入れのある写真：ベトナム「路地裏の一隅～地元民の食堂」



学生会員（九州職業能力開発大学校 建築施工システム技術科） 2025年4月沖縄支部から九州支部福岡地域会へ異動
 まえ ざと あいか
眞栄里 愛佳（福岡地域会）

学生会員として JIA に入会しました眞栄里愛佳と申します。

沖縄出身の私は、「建築で地域をよりよくしたい」という想いを原動力に学び続けています。最初の学びの場である沖縄職業能力開発大学校では施工の基礎を徹底的に学び、山城一美ゼミで、「子どもの回遊拠点—これからの児童館のカタチ—」というテーマで子どもの居場所となる児童館の設計に挑戦しました。沖縄の貧困問題を背景に、建築が人と社会に寄り添う力を実感し、第28回卒業設計作品選奨の短期大学、専門・専修学校部門で優秀賞の受賞にもつながりました。

さらに視野を広げるため、現在は九州職業能力開発大学校で木質・RC・S造の図面作成から積算、施工までを一貫して学んでいます。異なる地域で学ぶことで、「地域が変われば建築の姿勢も変わる」という面白さを強く感じています。特に木材需要の高まりを背景に、材料選択や仕上げに表われる建築家の思想に興味を持つようになりました。

JIA九州支部福岡地域会に参加したきっかけは、松山将勝氏の講演で、建築と施工を分けず誠実に向き合う姿勢に心動かされたことです。現在は講演会やイベントに積極的に参加し、多様な視点に触れることを大切にしています。

将来は、沖縄で建築家として活動し、地域のためになる建築をつくるのが目標です。そのために、ここでしか得られない経験や出会いを全力で吸収しています。JIA九州支部の皆さまから多くを学び、成長につなげていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



第28回卒業設計作品選奨 出品作品

2025/10/25 第5回役員会 本部・支部事業委員会報告_01

報告事項	
③ <常設委員会> 活動報告	
1 総務委員会	福田哲也 知財WG:田中健一郎
10月6日ZOOM開催。法人協力会員申込様式、協力会異動届書式等について協議を行った。	
知財WG : 報告事項無し	
2 財務委員会	重田 信爾
9月30日 2025年度第1回開催(総会報告、2025年度活動について、事業活動助成(受付中)、等)	
3 職能・資格制度委員会	田中健一郎
10月10日(金)WEB職能・資格制度/本部建築家資格制度実務 合同開催委員会 1 特別委員会(第6・7回)及びその間の古谷士会連合会長らとの意見交換(9/1)の概要報告 2 登録建築家リーフレット:各支部での配布状況と、利用促進策 3 千葉大会マンス「けんちく あいことば」 4 千葉大会 トークセッション S19「建築家ってだれですか?」 5 新規・更新・再登録の申請勧誘メール 12月初旬分と1月初旬分の承認	
4 業務委員会	前田哲 建賠WG:田中康裕
9月18日:国交省官庁営繕部からの依頼事項(以下2件)への全国委員の意見集約と提出を行った。 1.工期が延長した場合の工事監理業務委託料の追加条件について (官庁営繕部が工期延長の際に工事監理委託料を追加で支払う条件を整理するための意見照会) 2.設計業務等の不調・不落に関するアンケートへの追記事項について (官庁営繕部が不調・不落の背景等に関してアンケート調査を実施予定、追記事項の意見照会)	
建賠WG : 九州支部での勉強会の日程について(1月後半、2月中旬)10月17日ケンバイマンス開催	
5 広報委員会	本部:佐々木 信明 支部:一丸 康貴、吉永 啓、小嶋啓美
・10月2日集合形式にて第3回広報委員会がJIA本部で開催されました 1. 前回広報委員会議事録の確認 2. HP保守WGの活動について報告 3. JIA-netについて 4. 建築家PR動画推進WGの活動について報告 5. 全国大会関係ご報告とご案内 6. 理事会報告(本部理事報告参照下さい) 7. 各支部報告 次回、第4回本部広報委員会は11月18日web開催	
支部: ブルテン発刊済み。大変遅くなり申し訳ありませんでした。	
6 教育委員会	田中康裕
10月18日フィールドトリップ開催	
7 国際委員会	水本浩二
・9/26 第5回国際委員会(WEB出席13名) (ゴールデンキューブ賞、支部助成、タイとの交流、JIA旭川大会、ARCASIA大会ほか全6議題) ・9/26 JIA千葉大会IPF準備会議 (ウェルカムパーティー、2国間会議、IPF関連、エクスカージョンミニツアー等)	
8 CPD評議会	田中康裕
9月26日評議会開催	
9 建築家資格制度実務委員会	宮崎秀志
10/6支部内新規登録建築家の案内メール送付済み。10/10職能・資格制度/本部建築家資格制度実務合同委員会開催。 次号JIAマガジンにて建築士会連合会との新資格制度意見交換の進捗状況を掲載予定である。(内容について会員等から意見を求めるフォーム有り。)	

2025/10/25 第5回役員会 本部・支部事業委員会報告_02

報告事項	
④ <全国会議> 活動報告	
1	JIA環境会議 古森弘一 9月9日環境会議（古森欠席でしたが、議事録がまだ、共有できていないため内容確認できていません）
1-2	伝統的工法のすまいWG: 古川保 報告事項無し
2	JIA保存再生会議 柴田真秀・田島正陽 10月15日WEB会議、全国大会の件等
2-2	JIA文化財修復塾WG 岩田幸千 2025年10月1日(水) JIA文化財修復塾WG会議をWEBにて行った。 ・9月13日 奈良現地講習の報告 ・11月6日 野田市の修復塾現地講習会の詳細を協議 ・各支部からの報告
2-3	近現代建築物緊急調査ユニットWG 鯉坂徹 報告事項無し
3	JIAまちづくり会議 松島逸人 ・9/29 マンスリーオンライン企画 事前ミーティング（ZOOM） ・10/3 マンスリーオンライン企画 「グランドレベルで千葉市のまちづくりを考える／地域を活かす建築家のファシリテーション」 講師：田中元子（グランドレベル）、長島哲治（千葉市まちづくり課）、連健夫（JCAABE）
4	JIA災害対策会議 林田直樹 10/16 第4回災害対策会議
5	JIA建築相談連携会議 豊田宏二 報告事項無し
5-2	JIA九州支部建築相談委員会： 豊田宏二 9月16日から10月20日は下記の相談対応を行いました。 ○9月25日福岡 定例報告会と懇親会の開催
6	JIA住宅等連携会議 智原聖治 報告事項無し
6-2	住宅連携会議 (小規模事務所のBIM推進) 佐々木寿久 ・10/2 JIA建築家大会2025千葉「JIAマンス」オンラインイベント 建築家、新しい家族をデザインする
⑤ <その他>	
1	全国学生設計コンクール実行委員会 池浦順一郎 9月17日 実行委員会会議
2	建築家PR動画推進WG 松山将勝 報告事項無し

2025/10/25 第5回役員会 本部・支部事業委員会報告_03

3	職責委員会	松山将勝		
	報告事項無し			
4	懲戒審査委員会	佐々木 信明		
	報告事項無し			
⑥ <特別委員会> 活動報告				
1	オンライン・リモート対応や環境整備に特化した特別委員会	村上明生		
	報告事項無し			
2	カーボンニュートラルの樹	古川保		
	報告事項無し			
3	新資格制度を推進する特別委員会	佐々木寿久		
	・9/30 第2回新資格制度を推進する特別委員会			
教育支援委員会				
1	建築塾WG	佐々木寿久		
	本日、開催中			
2	デザインレビューWG	池浦順一郎		
	報告事項無し			
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾		
	報告事項無し			
4	建築家派遣（エコルサポート）	福田 哲也		
	報告事項無し			
活動支援委員会				
1	収益事業WG	川津 悠嗣		
	報告事項無し			
2	JIAサポートWG	川津 悠嗣		
	報告事項無し			
3	木活（モクカツ）WG	松島 逸人		
	報告事項無し			
4	25年賞WG	下山 道男		
	九州支部から2件、本部へ報告書を返信			
5	九州建築新人賞WG	松山 将勝		
	報告事項無し			
6	ケンバイWG	田中康裕		
	九州支部での勉強会の日程について（1月後半、2月中旬） 10月17日ケンバイマンス開催			

2025/12/13 第6回役員会 本部・支部事業委員会報告_01

報告事項			
③ <常設委員会> 活動報告			
1	総務委員会	福田哲也	知財WG: 田中健一郎
	報告事項無し		
	知財WG : 報告事項無し		
2	財務委員会	重田 信爾	
	2025年度第2回 11月18日(火)対面開催 ・収支・財務状況の推移について ・今後の財務委員会活動について ・2025年度 JIA事業活動助成採択審査(申請5件。満額承認2件、半額承認1件、未承認2件。)		
3	職能・資格制度委員会	田中健一郎	
	報告事項無し		
4	業務委員会	前田哲	建賠WG: 田中康裕
	12/3 業務委員会報告事項 1. BIM特別委員会の活動報告 建築3会が合同で作成中のBIMデータ入力目安は、告示8号に準拠した成果図書の標準業務範囲を明確化し、過度な業務負担を抑制するハイブリッドなBIM/CAD利用を是認することで、BIM普及を阻害する無償の範囲拡大を防ぐことを目的とする。 2. 業務報酬フォローアップ会議の状況報告 国交省が告示から略算表を廃止し報酬算定の責任を業界団体へ移管する方針転換を進めており、将来的に国が限定的に示す「参考値」と業界が提供する「参考情報」という二つの情報源が並存することで、発注者側が適正な報酬を判断する際に混乱を招くという懸念がある。 3. 4会/7会連合の約款改定に関する報告 約款改定では、ハラスメント防止や働き方改革に関する条項が新設される一方、著作権の扱いや損害賠償額の上限設定、契約の電子化対応といった論点については、引き続き協議が進められている状況が報告された。 4. 社会資本整備審議会における中長期ビジョンの検討状況 建築分野の中長期ビジョンに対する意見書提出に向け、JIAからは「新築基準の高度化と既存ストックとの乖離是正」および「全国一律ではない地域特性を考慮した制度設計の重要性」という2つの核心的な主張を提案の軸として明確に打ち出す方針が共有された。		
	建賠WG : 報告事項無し		
5	広報委員会	本部 : 佐々木 信明	支部 : 一丸 康貴、吉永 啓、小嶋啓美
	2025年11月18日 第4回広報委員会 1. 前回広報委員会議事録の確認 2. HP保守WGの活動について報告 トップ画像作品選定、他 3. JIA-netについて 4. 建築家PR動画推進WGの活動について報告 5. 全国大会関係ご報告 6. 理事会報告 7. 各支部報告 以上 (広報委員会の報告内容は、本部理事会報告や総務委員会報告と重複しているかと思えます)		
	支部 : 次回ブルテン発刊に向け、作業中。原稿依頼済み。1月発刊予定。前回役員会での報告通り事務局・岩本氏も支部広報委員会に参加。		
6	教育委員会	田中康裕	
	熱海リフレッシュセンター閉館に伴う今年度のリフレッシュセミナーについて		
7	国際委員会	水本浩二	
	・10/24 JIA千葉大会IPF準備会議 ・10/24 第7回国際委員会 (WEB出席18名) (ゴールデンキューブ賞、AIA Work Plan、支部助成、タイとの交流ほか全4議題) ・11/21 第8回国際委員会 (WEB出席20名) (ACYAの日本語訳について、千葉大会について全2議題)		

2025/12/13 第6回役員会 本部・支部事業委員会報告_02

8	CPD評議会	田中康裕
	10月31日、11月28日評議会開催	
9	建築家資格制度実務委員会	宮崎秀志
	11月初旬：支部より登録建築家リーフレットを各地域会に正会員人数分を送付。 12月初旬：支部より登録建築家新規登録対象者へ呼び掛けメール送付。	

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1	JIA環境会議	古森弘一
	報告事項無し	
1-2	伝統的工法のすまいWG:	古川保
	報告事項無し	
2	JIA保存再生会議	柴田真秀・田島正陽
	報告事項無し	
2-2	JIA文化財修復塾WG	岩田幸千
	2025年11月12日(水) JIA文化財修復塾WG会議をWEBにて行った。 ・11月6日 野田市の修復塾現地講習会の報告 ・千葉全国大会の報告 ・12月13日 次回座学講座の発表について協議した ・各支部からの報告	
2-3	近現代建築物緊急調査ユニットWG	鯉坂徹
	報告事項無し	
3	JIAまちづくり会議	松島逸人
	報告事項無し	
4	JIA災害対策会議	林田直樹
	11/8 JIA建築家大会千葉 テーブル20 事前防災への取り組みと今後の展望	
5	JIA建築相談連携会議	豊田宏二
	報告事項無し	
5-2	JIA九州支部建築相談委員会:	豊田宏二
	10月21日から12月8日は下記の相談対応を行いました。 ○10月21日福岡 相談内容：ハウスメーカー作成のプランに第三者的な意見が欲しい	
6	JIA住宅等連携会議	智原聖治
	報告事項無し	
6-2	住宅連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久
	報告事項無し	

2025/12/13 第6回役員会 本部・支部事業委員会報告_03

3	職責委員会	松山将勝	
	報告事項無し		
4	懲戒審査委員会	佐々木 信明	
	報告事項無し		
⑥ <特別委員会> 活動報告			
1	オンライン・リモート対応や環境整備に特化した特別委員会	村上明生	
	報告事項無し		
2	カーボンニュートラルの樹	古川保	
	報告事項無し		
3	新資格制度を推進する特別委員会	佐々木寿久	
	報告事項無し		
教育支援委員会			
1	建築塾WG	佐々木寿久	
	報告事項無し		
2	デザインレビューWG	池浦順一郎	
	12/1実行委員会会議		
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾	
	募集準備のメール協議 (11/27～継続中)		
4	建築家派遣 (エコルサポート)	福田 哲也	
	報告事項無し		
活動支援委員会			
1	収益事業WG	川津 悠嗣	
	報告事項無し		
2	JIAサポートWG	川津 悠嗣	
	報告事項無し		
3	木活 (モクカツ) WG	松島 逸人	
	報告事項無し		
4	25年賞WG	下山 道男	
	現地審査: 12月13日 (予定) 霧島アートの森		
5	九州建築新人賞WG	松山 将勝	
	第3回九州J建築新人賞の応募数は15作品。12月15日(月)18:00~1次審査を事務局にて開催。		
6	ケンバイWG	田中康裕	
	メールにて九州支部にての勉強会日程について連絡あり。(執行部へ連絡済)		

2026/02/07 第7回役員会 本部・支部事業委員会報告_01

報告事項

③ <常設委員会> 活動報告

1	総務委員会	福田哲也	知財WG: 田中健一郎
	報告事項無し		
	知財WG : 報告事項無し		
2	財務委員会	重田 信爾	
	2/3 委員会開催		
3	職能・資格制度委員会	田中健一郎	
	報告事項無し		
4	業務委員会	前田哲	建賠WG: 田中康裕
	<p>■2/3業務委員会議題：社会資本整備審議会（以下、社整審）について 国交省は昨年までの議論を引き継いで、建築分野の中長期的なビジョン（2050年を見据えた今後10年程度のロードマップ）を策定するための新しい検討会を設置した（ビジョンは、人員不足、技術革新、DX、環境問題、街づくりといった建築分野の諸課題を包括的に網羅するもの）</p> <p>■今後のJIA対応</p> <p>1. 個別ヒアリングへの対応： 2026年2月から3月にかけて、国交省住宅局とJIAの間で、これまでの意見を深掘りするための個別協議を実施する。</p> <p>2. 新検討会への参画： 2月19日に始動する「建築分野の中長期的なあり方に関する検討会」にオブザーバーとして参加し、JIAとしての主張を反映させる。</p> <p>3. 意見の集約と発信： 既存ストックの活用、法規制の抜本的見直し、地域の信頼に基づく仕組みづくり等、建築家の視点からの提言をさらに具体化し、業務委員会がとりまとめビジョンに盛り込ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2026年2月19日：「中長期的なあり方に関する検討会」第1回会合（キックオフ） ・ 2月～3月：国交省によるJIAへの個別ヒアリング（JIA内の意見を集約して臨む） ・ 4月：建築分科会・建築基準制度部会の合同会議開催 ・ 6月：各ワーキンググループからの報告 ・ 5月～12月：国交省主催の普及啓発シンポジウム等の開催 ・ 2027年（令和8年）9月～10月：中長期ビジョンの最終取りまとめ 		
	建賠WG : 報告事項無し		
5	広報委員会	本部：佐々木 信明	支部：一丸 康貴、吉永 啓、小嶋啓美
	<p>2026年1月9日第5回本部広報委員会 WEB開催 委員：萬野光雄委員長（近畿）、堀尾浩（北海道）、高橋岳志（東北）、田口知子（関東甲信越）、会田友朗（関東甲信越）、山田健太郎（北陸）、出口基樹（東海）、白根博紀（中国）、松浦仁郎（四国）、佐々木信明（九州）、金城司（沖縄）、各委員。森暢郎オブザーバー、筒井信也専務理事、北澤将司事務局担当</p> <p>議事内容：1. 前回広報委員会議事録の確認 2. HP保守WGの活動について報告、トップ画像作品選定、他__高橋氏 3. JIA-netについて__高橋氏 4. 建築家PR動画推進WGの活動について報告__会田氏 5. 理事会報告 6. 各支部報：九州支部から第3回九州建築新人賞の審査状況（エントリー数と二次審査について）、公開シンポジウム開催（4月11日）について報告、ブルテン新年号の発刊予定について報告 次回開催は2月予定</p>		
	支部：	役員会時点でブルテン発刊済み 執筆頂いた会員の皆様ありがとうございました。	
6	教育委員会	田中康裕	
	報告事項無し		

2026/02/07 第7回役員会 本部・支部事業委員会報告_02

7	国際委員会	水本浩二	報告事項無し
8	CPD評議会	田中康裕	12月24日、1月30日 評議会開催
9	建築家資格制度実務委員会	宮崎秀志	2月3日職能・資格制度／本部建築家資格制度実務合同委員会開催 ・JIA登録建築家暫定登録数：新規17名、更新375名(更新率76%)、再登録32名 ・士会連合会との2会合意進捗状況：基本事項にて合意した、今後各課題に対して詳細を詰めていく。

報告事項

④ <全国会議> 活動報告

1	JIA環境会議	古森弘一	12月9日、1月20日に環境会議開催されました。カーボンニュートラル連続セミナーについて意見交換されました。
1-2	伝統的工法のすまいWG:	古川保	報告事項無し
2	JIA保存再生会議	柴田真秀・田島正陽	1月14日リモート会議あり能登地震文化財ドクター報告、支部報告、来年度の活動計画を鯉坂委員長より提案あり
2-2	JIA文化財修復塾WG	岩田幸千	2026年1月7日(水) JIA文化財修復塾WG会議(第8回)をWEBにて行った。 ・2月7日の最終発表に向けて協議 ・講師(栗生明、倉方俊輔、黒木正郎)の諸手続き、及びCPDについて ・各支部からの報告(JR東海駅舎など)
2-3	近現代建築物緊急調査ユニットWG	鯉坂徹	報告事項無し
3	JIAまちづくり会議	松島逸人	報告事項無し
4	JIA災害対策会議	林田直樹	12/15 第5回災害対策会議 1/29 第6回災害対策会議
5	JIA建築相談連携会議	豊田宏二	報告事項無し
5-2	JIA九州支部建築相談委員会:	豊田宏二	12月9日から2月2日は下記の相談対応を行いました。 ○12月16日福岡 相談内容:新築マンションのオプションセレクトについての相談 ○12月25日福岡 相談内容:マンション敷地内立体駐車場の解体についての技術的相談 ○1月20日福岡 相談内容:ハウスメーカー作成のプランについての第三者意見 また、12月11日に定例報告会と懇親会を開催しました。

2026/02/07 第7回役員会 本部・支部事業委員会報告_03

6	JIA住宅等連携会議	智原聖治
	報告事項無し	
6-2	住宅連携会議 (小規模事務所のBIM推進)	佐々木寿久
	報告事項無し	

⑤ <その他>

1	全国学生設計コンクール実行委員会	池浦順一郎
	1月21日実行委員会会議	
2	建築家PR動画推進WG	松山将勝
	報告事項無し	
3	職責委員会	松山将勝
	報告事項無し	
4	懲戒審査委員会	佐々木 信明
	報告事項無し	

⑥ <特別委員会> 活動報告

1	オンライン_リモート対応や環境 整備に特化した特別委員会	村上明生
	報告事項無し	
2	カーボンニュートラルの樹	古川保
	報告事項無し	
3	新資格制度を推進する特別委員会	佐々木寿久
	報告事項無し	

2026/02/07 第7回役員会 本部・支部事業委員会報告_04

支部事業委員会報告

教育支援委員会

1	建築塾WG	佐々木寿久	
	報告事項無し		
2	デザインレビューWG	池浦順一郎	
	12月15日実行委員会会議・1月19日実行委員会会議・2月2日実行委員会会議		
3	DR高校生レポーターWG	重田 信爾	
	1月27日 WG打合せ (ZOOM)、2月2日 募集開始		
4	建築家派遣 (エコルサポート)	福田 哲也	
	報告事項無し		

活動支援委員会

1	収益事業WG	川津 悠嗣	
	報告事項無し		
2	JIAサポートWG	川津 悠嗣	
	報告事項無し		
3	木活 (モクカツ) WG	松島 逸人	
	報告事項無し		
4	25年賞WG	下山 道男	
	2025年度「JIA25年賞」受賞作品決定 7作品 九州支部は霧島アートの森 (鹿児島県) 早川邦彦建築研究室・竹中・堀之内共同企業体		
5	九州建築新人賞WG	松山 将勝	
	2次審査(現地審査5作品)、最終審査会、公開シンポジウム日程決定※別紙		
6	ケンバイWG	田中康裕	
	報告事項無し		

JIA九州支部北福岡地域会 2025年度 活動報告(9月)



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

活動スケジュール

○9月

4日：北九州建築6 団体幹事会.

5日：第二回例会

9日：まちづくり研究セミナー補助金打ち合わせ

20-21日：九州支部 持ち出し役員会in熊本

27日：山芋会 (JIA・KAC・法人協力会)

第二回例会

■日時：令和7年9月5日 18:00~21:30

■場所：古森建築設計事務所

■参加：大久保元会員（講師）・古森・服巻・浅田・中條・戸村・後藤・藤本・加藤・塩釜

■報告事項

・大久保元会員による講話

・都市計画コンサル時代のつくば学研都市・多摩ニュータウンの設計
・東和大学での活動など幅広いレクチャーを拝聴

持ち出し役員会in熊本

■日時：令和7年9月20-21日

■場所：熊本市

■参加：松島、後藤、杉野、塩釜

■報告事項

・熊本にて持ち出し役員会に参加

・早川倉庫・PSオレンジリの見学

・熊本住宅賞審査見学

・街歩きのエクスカーション 古町・新町



JIA九州支部北福岡地域会 2025年度 活動報告(10月～11月)



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

活動スケジュール

○10月

- 7日：3団体合同商品説明会
- 8日：事務所協会児童絵画展審査会
- 17日：日韓学生WS + 建築塾実行委員会
- 24～26日：日韓学生WS + 建築塾
- 30日：建築家大会2024別府 実行委員会 (WEB)

○11月

- 6日：JIA建築家大会2025千葉 エクスカーション
- 7～8日：JIA建築家大会2025千葉
- 17日：日韓学生WS + 建築塾 反省会

日韓学生WS + 建築塾 反省会

■日時：令和7年11月17日

■場所：門司港地ビール工房（門司港）

■参加：建築塾塾生（高濱・キム）・古森・服巻・浅田・高濱・杉野・三迫・後藤・加藤・塩釜

■報告事項

- ・門司港にて反省会
- ・古森会員がリノベーションした門司港地ビール工房の視察

日韓学生WS + 建築塾

■日時：令和7年10月24～26日

■場所：旧大連航路上屋（門司港）

■参加：玉田誠・脇本夏子・古森・日韓学生・建築塾生・JIA会員・一般 合計158名

■報告事項

- ・別途報告書に掲載



JIA九州支部北福岡地域会 2025年度 活動報告(12月～1月)



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

活動スケジュール

○12月

13日：九州支部第6回役員会

17日：北福岡地域会第1回役員会＋忘年会

○1月

16日：北九州6団体新年賀詞交歓会

北九州6団体新年賀詞交歓会

■日時：令和8年1月16日

■場所：クラウンパレス小倉

■参加：JIA10名

■報告事項

・北九州建築6団体所属＋市長＋北九州市都市戦略局幹部＋協力会による新年賀詞交歓会

北福岡地域会第1回役員会＋忘年会

■日時：令和7年12月17日

■場所：小倉駅ディスカバリーコワーキング＋魚衛門

■参加：12名

■報告事項

・次年度活動方針・予算計画について

・日韓学生WS決算報告

・役員改選について



JIA九州支部各地域会2025年9月16日～10月20日活動報告



北福岡 福岡 佐賀 長崎 大分 熊本 宮崎 鹿児島

9月例会

- 2025年9月24日（水）
- 天神ビル11階3号室
- 参加者数 27名
- 9月の福岡地域会例会

○ Gデザインアソシエイツを率いる西洋一氏を講師にお迎え、共同住宅設計の手法を事細かに解説してもらおうと共に近年における集合住宅業界の最新の動向や傾向、設計受注のテクニックなど、今回特別に用意された資料を元に指南いただいた。

- 18:00 例会挨拶（有吉地域会長）
- 18:05 協会会セミナー YKK AP（株）
- 18:15 西洋一氏講演会
- 19:45 質疑応答
- 20:00 閉会



西洋一
Gデザインアソシエイツ 代表取締役会長
1988 会期生（国土建研）生まれ
1994 九州大学工学部建築学科卒業
1994 ㈱マイ建築研究所
1999 ㈱西宮建設よりつくり建築研究所
2000 設計士事務所を設立、創設者代表
㈱Gデザインアソシエイツ設立
2006 ㈱Gデザインアソシエイツに専任受注
2024 一社一社建築事務所を合併して現在
国土交通省関係機関等と連携多数



9月24日（水）18:00～20:00
天神ビル
会場：福岡市中央区天神2丁目12-1 天神ビル11階3号室

数々の共同住宅を手がけてきた西洋一氏による共同住宅設計の手法を事細かに解説してもらおうと共に近年における集合住宅業界の最新の動向や傾向、設計受注のテクニックなど、本邦初公開の講座です。

共同住宅設計のトップランナーによる 業界の最新動向と設計手法ノウハウ

公開例会スケジュール
17:45 受付開始
18:00 公開例会セミナー
18:15 共同住宅設計実務勉強会
19:45 質疑応答
20:00 閉会

参加・CPD申込
参加費：定員30名（申込締切9/29（金））
併合参加費：CPD参加希望の方はGoogle Formsから申し込みください
https://forms.gle/4D1RvUwD2pQM5uZA

10月例会

- 2025年10月15日（水）
- 太宰府天満宮本殿
- 参加者数 36名
- 10月の福岡地域会例会

○太宰府天満宮の重要文化財「御本殿」は124年ぶりの大改修の檜皮屋根、木工、金具、彩色、漆など、専門の職人たちにより一つひとつ手作業で古くから伝わる技法で工事が行われている現場を竹中工務店と村上会員に案内していただいた。

- 15:15 受付開始
- 15:30 神職さんによる解説と例会挨拶（有吉地域会長）
- 15:45 仮殿でのご祈禱
- 16:00 御本殿見学会
- 17:00 閉会

大改修見学会 「御本殿」重要文化財 太宰府天満宮



10月15日（水）15:30～17:00
集合場所：太宰府天満宮仮殿前
現場案内：アトリエサンカスケール

御本殿は124年ぶりに、1125坪という大きな屋根を葺き替えることになり、本殿の重要文化財の価値が再評価されています。重要文化財御本殿は、1949年3月の大改修が行われており、御本殿は、木工、彩色、漆など、専門の職人たちが一つひとつ手作業で古くから伝わる技法で工事が行われており、伝統技術の継承のみならず、職人の育成にも寄与しています。

本改修では、この大改修の御本殿を撮影するために、いろいろと工夫も凝らされています。ネットと平屋屋根の上で撮影するため、足場がたわみますので、JA会員・法人会員が撮影の指導を受けることができます。撮影の仕方なども指導いたします。参加希望の方は、事前に申し込みをお願いします。申し込みは、お申し込みの受付までです。お申し込みは、お申し込みの受付までです。お申し込みは、お申し込みの受付までです。



公開例会スケジュール
15:15 受付開始
15:30 集合と挨拶
15:45 現場見学会
16:00 御本殿見学会
17:00 閉会

参加・CPD申込
参加費：定員36名（申込締切10/18（日））
併合参加費：CPD参加希望の方はGoogle Formsから申し込みください
https://forms.gle/4D1RvUwD2pQM5uZA

フライヤー



JIA九州支部各地域会 2025年 11月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

11月例会

■2025年11月27日（木）

■天神ビル11階6号室

■参加者数 31名

■11月の福岡地域会例会

○図解を交えた講演で、磯崎新の先見的な「空中都市」から

SANAAの洗練されたミニマリズムに至るまでの進化を辿りながら、近現代日本建築における空間の系譜を探究する意欲的な講義。多くの学生も参加し、刺激的な内容であった。

18:15 受付開始

18:30 例会挨拶（有吉地域会長）

18:45 Botend Bognar氏講演会

20:30 質疑応答

20:45 閉会



フライヤー



Botend氏



建築相談室

10月21日から12月8日は下記の相談対応を行いました。

○10月21日福岡 相談内容：ハウスメーカー作成のプランに第三者的な意見が欲しい（担当：高司、今井）

福岡地域会役員会（第5回）

■日時：2025年11月1日（土曜日）17:00～18:30

■場所：JIA九州支部事務局

■参加人数：9名

第4回役員会議事録確認

■審議事項

1.入退会について 2.その他

■協議事項

1.選挙について（日程） 2.今後の例会について 3.その他

■報告事項

1.会長報告 2.九州支部長報告 3.事業室報告 4.企画運営室報告
5.その他

JIA九州支部各地域会 2025年度 12-1月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

佐賀の水辺のこれから

日時：2026年1月14日（水）14:00-17:00

会場：佐賀大学（4号館1F）

参加者：46名（佐賀地域会3名、他43名）

低平地研究会が主催し、JIA佐賀地域会など佐賀市内のクリークについて活動・研究している団体との共催で、「佐賀の水辺のこれから」と題したシンポジウムが開催された。デルフト工科大学で佐賀のクリークを研究している稲井氏による研究内容の講演と、佐賀地域会会長川崎も登壇しての意見交換が行われ、佐賀市内の水辺に関する有意義なイベントとなった。

低平地研究会 公開研究会

佐賀の水辺のこれから

【話題提供】
「水と寄り添うまちの再編—佐賀市における水路空間を中心とした持続可能なブルーグリーンネットワークの提案—
(Revising the Heritage Water Network -A sustainable, adaptive blue-green network for Saga-)」
講師：稲井佳那子氏
(デルフト工科大学(オランダ) 建築・環境学部ランドスケープアーキテクチャ専攻 修士課程修了)

【意見交換会】

- 稲井佳那子氏 (同上)
- 後藤隆太郎 (低平地研究会都市空間部会副会長、佐賀大学理工学部教授)
- 笠真希氏 (低平地研究会会員、佐賀大学理工学部客員研究員、NPO低平地における水と土のコモンスペース研究会代表)
- 川崎康広氏 (福岡県空間研究所、さがクリークネットワーク代表)
- 三島悠一郎 (低平地研究会環境部会副会長、佐賀大学理工学部准教授)

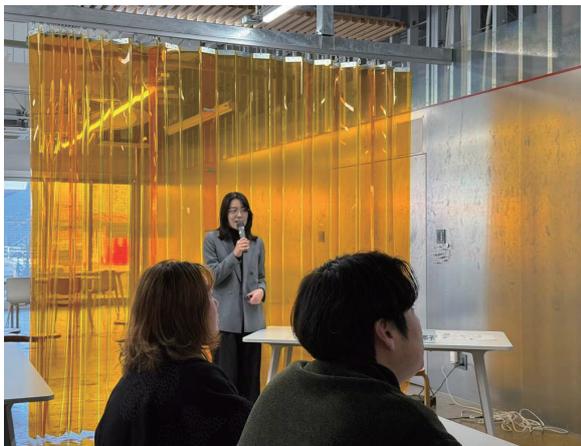
コーディネーター：ウインタナーストーン ナルモン (低平地研究会環境部会会長、佐賀大学理工学部准教授)

日時：2026年1月14日（水）
14:00～17:00

場所：佐賀大学理工学部4号館1階
デザインギャラリー
ライブ形式 (Zoom)

主催：低平地研究会 環境専門部会・都市空間専門部会
参加申し込みフォーム(参加費：無料)
<https://forms.cle/e/okh5rAbebGGxeE3T>

△シンポジウムのフライヤー



△稲井氏による講演

長崎・佐賀技術セミナー

日時：2026年1月19日（月）17:00-18:30

会場：zoom

参加者：22名（佐賀地域会5名、他17名）

長崎佐賀合同で定期的に開催している技術セミナーを開催した。

- ・株式会社ユカリラ（ふく射空調システム等の解説）
- ・内山電機株式会社（シャッターガード等の解説）



△レクチャーの様子



△WEB参加者

JIA九州支部各地域会 2025年度 9月,10月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

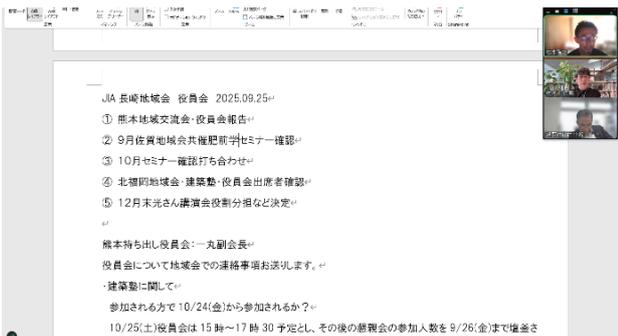
宮崎

鹿児島

■長崎地域会リモート役員会

日時：2025年9月25日（木）参加者3名

報告事項、末光和弘氏講演会について協議



水庭に面する大開口で開放的な滝湯、細やかな設計が印象的

■佐賀地域会+長崎地域会合同肥前学セミナー

日時：2025年9月27日（土）28日（日）CPDプログラム

参加者19名：佐賀地域会7名+長崎地域会員6名



①建築家吉村順三設計の武雄温泉大正屋バックヤードツアー
佐賀地域会の馬場氏から資料による座学と、普段は見学することのできないバックヤードツアーでの建築視察と裏話なども聞くことができ、貴重なセミナーとなった。



施設4Fのナイトラウンジは曲線による美しい空間構成



佐賀大学三島先生による肥前学セミナーでは、浜宿における25年の活動経緯と、文化財活用と個の建築リノベデザイン、街並み景観の形成といった総合的な視点でお話いただいた。



JIA九州支部各地域会 2025年度 11月,12月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■ 建築家仙田満講演会

「感動を喚起する空間を設計する～遊環構造デザインの60年」

日時：2025年12月2日（火）CPD認定プログラム

会場：長崎歴史文化博物館 時間：18：00～20：00

参加者150名（JIA会員 長崎11名佐賀2名）



長崎スタジアムシティ1周年を記念し、長崎県建築士会、事務所協会、JIAの共催で講演会を開催した。長崎、全国での作品説明や遊環構造の変遷のほか、AI時代の建築環境と建築家の存在意義などにも言及され、仙田先生の次の作品が楽しみな講演内容となった。



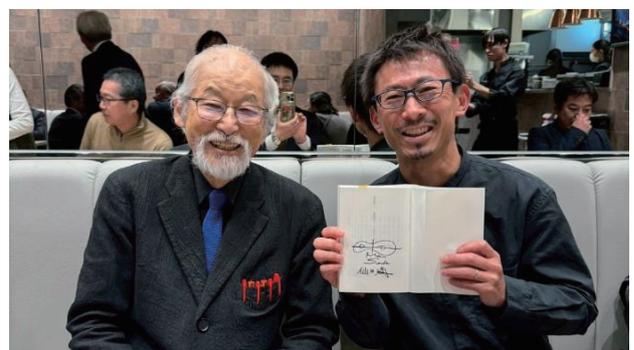
講演会前日に長崎県諫早市市民交流センター設計プロポーザルにおいて最優秀案に選定されたとの結果ご報告も頂いた。



遊環構造を主要な5つの機能施設により体现したスタジアムシティの中核施設、ピーススタジアムにて会場を移動しての懇親会での記念撮影



懇親会には建築3団体の他、県内教育機関関係者なども参加。



仙田先生著書にサイン頂き、壱岐へのご来島をお願いした。

■ 長崎地域会リモート役員会

日時：2025年12月10日（水）参加者4名

- 末光弘和氏講演会の最終確認、地域会忘年会・懇親会の確認
- 今年度1月、2月、3月の活動について協議
- 新規会員候補のHAG環境デザイン橋口氏について協議

JIA九州支部各地域会 2025年度 12月,1月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■ 建築家末光弘和講演会「建築で循環をデザインする」

第2部トークセッション末光弘和×佐々木翔

日時：2025年12月16日（火）CPD認定プログラム

会場：長崎県立美術館 2階ホール 時間：18:00～20:00

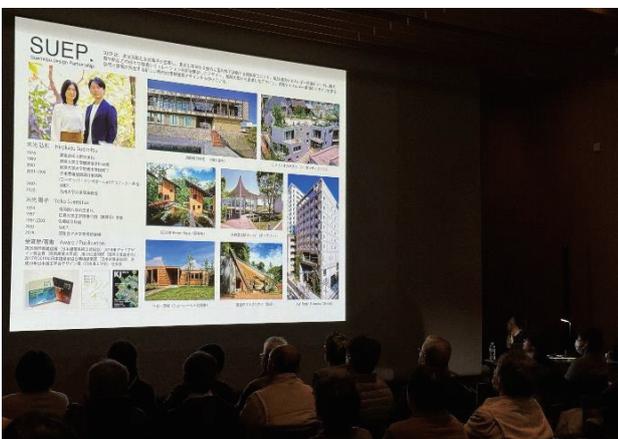
参加者80名（JIA正会員15名協力会員12名）



第二部のトークセッションでは、SUEP出身で長崎で活躍する建築家の(株)INTERMEDIA佐々木翔氏に登壇いただいた。2026年4月から長崎大学准教授への着任が決定しており、末光氏からは長崎という場所で建築教育に携わることの意義について問われ、長崎という場所性を活かした建築教育や島原などとの地域連携、長崎で建築意匠系国立大学と設計事務所の選択肢を確率していくことなどの目標について語った。

第一部の講演会では国内や台湾のプロジェクトを通して、SUEPの設計手法や建築と周辺環境の循環についてお話頂いた。末光弘和氏と末光陽子氏が主宰する建築ユニットSUEPは風や熱などのシミュレーション技術を駆使し、自然と建築が共生する新しい有機的建築のデザインを実践している。

根底にあるのは人のためだけでなく、地球のためでもない、両者にとって幸せな建築とはどのようなものかという視点で、「自然との共生」をテーマにした設計アプローチは当日参加していた多くの建築学生にとっても勉強になり、有意義な講演内容となった。



■ 長崎地域会忘年会+末光弘和講演会懇親会

参加者 講師2名、正会員12名、協力会員8名



JIA九州支部各地域会 令和7年8月～令和7年9月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■2025年度 第5回例会

日時 2025年9月16日（火） 18:15～19:45
 場所 「J:COMホルトホール」 201会議室
 出席者 28名
 会員出席者9名 委任10名 欠席3名 総数22名（19/22）
 協力会員出席者 17名 会員外2名

5.例会企画

司会 一宮幹事

○新入会協力会員 自己紹介
 小国町森林組合 梅木 孝浩 様
 会社概要をはじめ、小国林業の歴史や小国杉の特徴・利用活用
 地熱を利用した地熱乾燥木材、SGEC認証取得した構造用合板
 「Layer」等、多くの説明を頂いた

◆内容

審議事項

- 大分地域会関係 竹宮会長
 ・建築塾に参加される大有設計堤様への参加費・交通費補助につ
 いての承認 参加費30,000円・交通費10,200円の補助について異
 議等無く承認された

報告事項

- 支部関係 竹宮会長
 ・JIA建築家大会2025千葉大会への参加の呼びかけ
 役員会が9/20に行われるので、今月の支部関係報告は来月
 行う

- 大分地域会関係 竹宮会長
 ・JIA建築家大会2025千葉大会の補助の説明
 正会員は登録費の12,000円補助、協力会員は1社1名6,000円補
 助の説明

- その他 参加の皆様から
 (株)LIXIL LWT-J営業本部九州支社大分営業所 水守様より
 商品展示会のご案内をいただいた



JIA九州支部各地域会 令和7年9月～令和7年10月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■2025年度 第6回例会

日時 2025年10月21日（火） 18:15～19:30
 場所 「J:COMホルトホール大分」 201会議室
 出席者 25名
 JIA会員 出席 8名、委任状 11名、欠席 3名（19/22）
 協力会員 16名 会員外1名
 議事録作成者 足立心也
 議事録署名人 一宮嘉宏

◆内容

◇報告事項

○支部関係の報告

竹宮会長

- ・ 9/20 持ち出し役員会 @熊本へ出席
- ・ 建築家大会千葉大会の参加申し込みのご案内
- ・ 10/20 九州・沖縄設計4団体セミナー・懇談会に竹宮会長が参加

○大分地域会

- ・ ホームページ作成の進捗
9月末までにいただいた情報でホームページを公開
資料の提出がまだの方は早めに提出するよう催促

○その他

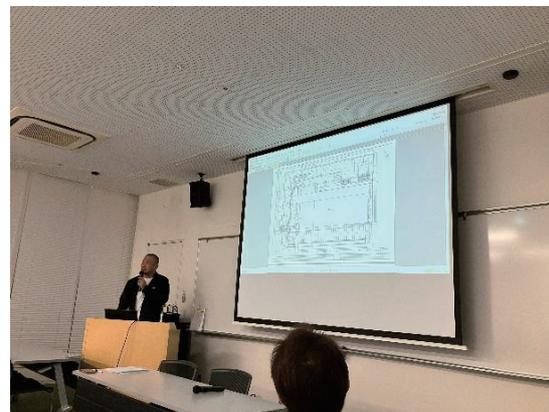
- ・ 大光電気(株) 徳丸様
新製品のPR
カタログの発刊記念セミナーについてご案内いただいた
- ・ 桑野会員が経営するバーが大分市都町にオープンした
ぜひご利用してほしい



4.例会企画

○竹宮会長の近作紹介

長崎県で完成した板金工場について発表していただいた
大分地域会協力会員のエコプラン様が設計協力



JIA九州支部各地域会 令和7年10月～令和7年11月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■2025年度 第7回例会

日時 2025年11月18日（火） 18:15～19:30

場所 J:COMホルトホール202

出席者

JIA会員 出席 9名、委任状 12名、欠席 1名 (21/22)

協力会員14名、会員外 1名

議事録作成者 松田会員

議事録署名人 一宮会員

◆内容

◇報告事項

竹宮会長

○支部関係

10/25に行われた九州支部役員会について報告
(重田会員報告書)

○大分地域会【竹宮】

ホームページの件（開設の案内と今後の対応等（更新方法等）
(山崎会員)毎月5回までの更新対応等について説明。今後の各活動に利用して
いただきたい○11/7、8 JIA建築家大会2025千葉の感想について
(山崎会員)

◇例会企画

一宮幹事

新規協力会発表

株式会社エンワ 堤 勇磨 様

①そもそも左官とは ②左官の新たな可能性 ③エンワとは ④設計に盛り込む際の注意事項 についてプレゼンテーションをして
いただいた

JIA九州支部各地域会 令和7年11月～令和7年12月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■2025年度 第8回例会

日時 2025年12月16日（火） 17:15～18:45
 場所 「J:COMホルトホール」 201会議室
 出席者 44名
 会員出席者16名 委任5名 欠席1名 総数22名 (21/22)
 協力会員出席者 21名 会員外7名

◆内容

- ◇会長挨拶 竹宮会長
大分地域会竹宮会長、JIA九州支部福田幹事長、JIA九州支部宮崎地域会小嶋様からのご挨拶を頂いた。
- ◇報告事項
- 支部関係 竹宮会長
 - ・公益社団法人日本建築家協会 本部役員候補者選挙について、前九州支部長松山さん立候補。投票のご協力。
 - ・来期に向けて予算計画を役員内で検討・作成予定。会員皆様にメールにてご報告確認していただき 1月26日に九州支部に提出
 - ・けんぱい ZOOM セミナーが2月10日18時より開催予定 会員+スタッフ視聴可能。
 - ・2026年6月福岡地域会 サグラダファミリア見学会を検討中。募集については後日連絡する。
 - ・九州支部大会(隔年)、九州建築塾(毎年)、地域交流会(隔年)について開催頻度等 支部予算との兼ね合いから検討を行う予定。
 - ・JIA と建築士会にて新しい資格制度(ジャパンアーキテクト)を作る方向で進めている。年内合意予定、詳細について今後報告。
- 大分地域会関係 竹宮会長
 - ・新規協力会員株式会社ヤマシタ 課長代理松井様 ご紹介
- その他 参加の皆様から 重田会員
 - ・令和7年度木の匠育成研修事業研修会のご案内。
2026年1月29日に開催される研修会のご案内を頂いた。



- 4.例会企画 司会 西村会員
- 建築塾報告
堤 康晃 様 (株式会社大有設計)
第24回 JIA 九州建築塾 in 北九州における建築塾の報告を頂いた。門司港における課題を空間・文化・営み・風景などから考慮した発表を頂いた。



- 「自邸を語る」
山崎真司 会員 (一級建築士事務所Yama Design)
2025年に完成した自邸について発表して頂いた。
計画から完成までに至る経緯や考え、周辺環境から生まれるすまいの在り方等説明して頂いた。



JIA九州支部各地域会 令和7年12月～令和8年1月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

■2025年度 第9回例会

日時 2026年1月20日（火） 18:15～19:45
 場所 「J:COMホルトホール」 201会議室
 出席者 28名
 会員出席者7名 委任12名 欠席3名 総数22名 （19/22）
 協力会員出席者 19名 会員外2名

4.例会企画 司会 西村会員
 『近作発表』
 西村 友吾 会員 （ニシムラユウゴ建築アトリエ）
 昨年完成したクリニックについて発表していただいた。

◆内容

◇報告事項

○支部関係

竹宮会長

1/14 「JIAの未来を考える討論会」開催 選挙について再度案内
 1/15立候補者名簿、投票用紙等送付（JIAマガジン同封）
 →2/9 投票終了→3/16結果発表
 重田会員よりJIA会長選挙について説明とご案内、投票の参加の
 お願いがあった。

○大分地域会関係

竹宮会長

1/8 一般社団法人 大分県設備設計事務所協会 令和8年新年互例会
 に参加
 1/12 令和7年度 総合資格学院 合格祝賀会に参加
 1/29 令和7年度木の匠育成研修事業 案内（重田会員より説明）

○その他 参加の皆様から

特になし



JIA九州支部各地域会 2025年10・11月 活動報告

北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

熊本地域会月例会（第6回）

■日時 2025年10月23日(木) 18:30～

■場所 熊本市民会館 2階 第2会議室

■参加人数 13名

1.審議事項、協議事項

1-1. ライティングパーティー

- ・ポスター決定、メセナ・チケット・案内先の確認
- ・各担当、スケジュール決め 集合時間16時

1-2. 住宅・作品展・地域交流会・懇親会の振り返り

住宅賞

- ・住宅賞の間隔を広げる（3年から4年）
- ・イベントが凝縮しすぎていたかも
- ・早めに募集をかけたほうがよい
- ・今までの住宅賞のアーカイブを作った方がよい

作品展

- ・テーマを絞らずにすぎたかも / 新しい試みで良かった
- ・目的を持って150名は悪くない数字
- ・金土日限定してもいいのでは
- ・模型の力はやはりある
- ・もう少し新しい場所 熊本城ホール、パレア
崇城ギャラリー ブックカフェ omo5
- ・次回例会にて作品展の企画案を練る

2.報告事項

2-1.支部役員会・各委員会より ・特になし

2-2.その他事業等報告

- ・10/4(土) 福井地域会懇親会参加
- ・10/18(土) フィールドトリップ (KIOKU)、懇親会参加
- ・能登ミツバチ会 (林田報告) 2日間6件
- ・10/17けんぱい (山室参加予定)
- ・建築相談 10/9対応 (梅田)

3.その他

- ・建築家大会2025千葉
- ・CPD制度と登録建築家について
- ・今後の予定の確認
- ・支部ブルテン協力依頼

4.閉会 20:00 次回:例会11/27(木)18:30～

熊本地域会月例会（第7回）

■日時 2025年11月27日(木) 18:30～

■場所 熊本市国際交流会館 3階 研修室3

■参加人数 9名

1.審議事項、協議事項

1-1. ライティングパーティー

- ・最終確認

1-2. 作品展（次年度）

住宅賞

- ・前は模型を中心とした展示、プロジェクトによってはQRコードの読取がうまくいかなかったことがあったが、来客者は悪くないのでは、予算が少ない割には良くできていたと思う (矢橋)
- ・次回担当者/上野 (ほか二人ほど)
- ・場所/予算8万 県立美術館分館以外 (予約間に合わず)

2.報告事項

2-1.支部役員会・各委員会より

- ・支部忘年会は2/7新年会に繰り延べ

2-2.その他事業等報告

- ・10/25(土)門司で建築塾、日韓ワークショップ合同開催
- ・10/19(日)・11/16(日) 新温泉 (人吉市) 見学会

3.その他

- ・建築家大会2025千葉 林田参加
- ・支部ブルテン
わさもん (2024年以降入会の方)、地域会の事業 (柴田)



JIA九州支部各地域会 2025年10月～ 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

宮崎地域会例会 第5回

日時：10月11日 木曜日 15：00～21：30

場所：延岡市

参加人数：会員6名+1名（オブザーバー）

□ 延岡市にて持ち出し例会

支部大会に向けて内容、場所等の準備のため延岡にて例会を行った

・ 15:00 延岡駅に集合

↓ 移動

・ 15:30 かわまち交流館着（鮎やな）

確認事項

※会場までのルート

※周辺の景観

※交流スペース状況

※食事等の内容

↓ 移動

・ 17:00 延岡総合文化センター

※天下一薪能 2025 秋 鑑賞

演目

連吟：四海波

仕舞：合裏 吉野天人

能：巴

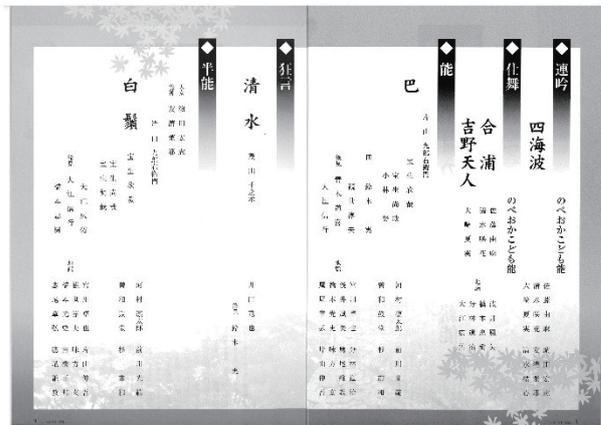
狂言：清水

半能：白髭

↓ 移動

・ 20:00 麦酒蔵 hideji 和厨房

反省会



以上



JIA九州支部各地域会 2025年12月～ 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

宮崎地域会例会 第7回

日時：12月19日 金曜日 18：30～皆が帰るまで

場所：田なかや、他

参加人数：会員7名+8名（オブザーバー）

 建築家協会 会長選挙について報告 忘年会

日時：1月23日 金曜日 19：00～20：15

場所：エンクロス

参加人数：会員2名+2名（実行委員会メンバー）

 四会合同建築セミナー2025実行委員会

- ・会場確認
- ・会場備品確認
- ・当日進行確認
- ・アテンド状況確認

JIA九州支部各地域会 2025年10月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

鹿児島地域会報告

□日韓交流 5人の建築家が来日し有意義な日韓交流を実施できた

10月13日

指宿のなのはな館（高崎正治）・岩崎美術館（槇文彦）等を見学。

知覧麓で昼食後、加世田麓を見学し、鹿児島市内天文館でウェルカム

パーティを行い、夏に訪韓したメンバーと親交を深めた。

10月14日

早朝の鹿児島魚市場で朝食後、鹿児島県、鹿児島市を表敬訪問。

昼食を鹿児島大学でとり、稲盛会館（安藤忠雄）で交流会議を実施

県、市の建築職を招き、レセプションを実施、交流15周年を記念し

バースディケーキの入刀やお互いの国での建築事情等、意見交換

□鹿児島県設計団体懇談会 10月6日に開催 代表幹事が出席

□令和7年度九州・沖縄設計4団体セミナー・懇談会 10月20日

代表幹事が出席しセミナーで「鹿児島県教育会館の再生と解体」を

報告した。



なのはな館



岩崎美術館



知覧麓の高城家住宅



加世田麓の旧猪鹿倉家住宅内でその改修経緯を聞くKIRAの訪日団



加世田麓の旧鯉坂家住宅の見学



ウエルカムパーティで昨年の訪韓メンバーと交流



鹿児島県庁に表敬訪問 鹿児島県土木部建築課より近年の県営籍の建築作品等の紹介があり、質疑応答が実施された



鹿児島市を表敬訪問 ここでも最近の再開発の説明が行われ、活発な質疑応答が行われた



約1時間にわたり今後の交流と日韓での多様な建築の課題について意見交換を実施した



レセプションでは、交流15周年を記念しケーキカットを実施した



レセプションには、会員と協力会以外に鹿児島県、鹿児島市、鹿児島大学、建築士会、事務所協会が参加

JIA九州支部各地域会 2025年12月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

鹿児島地域会報告

□2025年12月4日地域会定例会 はる（天文館）

・25年賞現地審査12/13 審査員のアテンド等の確認

・鹿児島会賞2/21 小野田建築学会長が2/20の鹿大の講評会にゲストクリティークとして来鹿予定。翌日のJIA鹿児島会賞への参加を打診する。→小野田会長より参加の回答あり

・建築展2/22,23 薩摩倉庫運輸の石蔵で開催予定

・次回1/29の合同例会のレクチャーは協力会員と肥後会員（天文館探偵物語）のレクチャーを予定。

・オープンレクチャーは3/27の予定

・JIA次期会長、次期九州支部幹事、鹿児島会次期幹事について

・JIA佐藤会長の来鹿について



JIA九州支部各地域会 2026年2月 活動報告



北福岡

福岡

佐賀

長崎

大分

熊本

宮崎

鹿児島

鹿児島地域会報告

□2026年1月29日定例会 ホテルマイステイズ鹿児島天文館

- ・正会員9人が対面、正会員1人と専門会員1人がWEBで参加
- ・2026年度事業計画/予算について確認を行った。
- ・鹿児島地域会役員人事・選挙 2月に公示し実施予定
- ・JIA次期会長選挙 棄権ないよう地域会全会員に電話連絡済
- ・鹿児島会賞について 2026年2月21日
- ・建築展2/22~23 22日夕に定例会と講演会を予定
- ・ジュニア会員（中武氏）新規入会承認
- ・2025年度の予定と次年度（2026）予定の確認



□2026年1月29日合同例会レクチャー

- ・製品紹介 小園硝子商会+旭硝子
 - ・「鹿児島の物語を鹿児島で撮る」 肥後会員
- ロケ地鹿児島と映画「天文館探偵物語」等々の紹介



□2026年1月29日合同例会 ホテルマイステイズ鹿児島天文館

- ・レクチャー終了後意見交換会（合同例会）を実施し、協力会員、正会員、27名が参加し意見交換会を開催した。



2025年度九州支部 入会・退会・異動・会員種別変更

■入会

正会員

- 花田 雅樹 (福岡地域会)
- 徳永 健至 (鹿児島地域会)
- 細海 拓也 (鹿児島地域会)
- 林 哲也 (福岡地域会)
- 宮城 光行 (福岡地域会)
- 田村 慶太 (福岡地域会)

準会員

- 王 暉昌 (福岡地域会)
- 中武 昌平 (鹿児島地域会)

学生会員

- 眞栄里愛佳 (沖縄支部→福岡地域会)

■退会

正会員

- 大橋 久一 (北福岡地域会)
- 大久保裕文 (北福岡地域会)
- 山口 幾義 (福岡地域会)
- 山澤 宣勝 (福岡地域会)
- 野中 毅 (佐賀地域会)
- 平野 直人 (佐賀地域会)
- 高崎 正治 (鹿児島地域会)

専門会員

- 森田健太郎 (福岡地域会)

学生会員

- 梅田 兼嗣 (福岡地域会)
- 本田 優依 (福岡地域会)
- 吉田 一輝 (福岡地域会)
- 千田 彩名 (福岡地域会)
- 北川 紗希 (佐賀地域会)

■他支部へ異動

正会員

- 飛永 直樹 (福岡地域会→関東甲信越支部へ)
- 川島 茂 (鹿児島地域会→関東甲信越支部へ)

■会員種別変更

正会員→シニア会員

- 浅田 典生 (北福岡地域会)
- 加藤 武弘 (福岡地域会)
- 松下 隆太 (熊本地域会)

JIA九州支部 事務局便り

イワモトヨシコ

あづまビルの紹介



2026年2月現在

編集後記

新年号の発刊にあたり、まずは毎号原稿をご提出いただいている会員の皆さまに、心より御礼申し上げます。お忙しい日々の中での執筆にもかかわらず、原稿依頼を快くお引き受けいただいていることに、広報委員会としていつも感謝の気持ちでいっぱいです。

お寄せいただいた原稿をもとに、誌面構成を考え、文章を整え、執筆者の皆さまに確認をお願いしながら一冊にまとめ上げていく作業は、決して簡単なものではありません。それでも、会員誌として「Bulletin」をかたちにしていくこの過程そのものが、九州支部の活動を支えているのだと感じています。

「Bulletin」では、支部や地域会の活動を紹介していますが、一方で、会員同士が意外と互いのことをよく知らない、という場面も少なくありません。

支部役員や地域会役員を務めると多くの会員の顔と名前を知ることになりますが、それ以外では、名前を聞いたことはあってもお会いしたことがない、ということもあるのではないのでしょうか。そうした中で、「Bulletin」が会員相

本部広報委員 佐々木 信明

互の交流を少しでも後押しする存在になっていれば嬉しく思います。

今号からは、支部事務局の岩本さんに、原稿の校正や委員会相互のやり取りや取りまとめの面でご協力いただいています。事務局という立場から多くの会員のことをよく把握されていることもあり、発刊に向けた作業がこれまで以上にスムーズに進んでいることを、実感として感じています。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

現在、広報委員会は私を含め4名体制で活動しています。また、佐々木寿久支部長は、一期2年の任期を残すところ数ヶ月となりました、今年5月に新たな態勢へとバトンを渡されます。

次号の発刊時期は未定ですが、その際には、佐々木支部長のこれまでのご尽力と功績を振り返る記事も掲載できればと考えています。

本年も、「Bulletin」が九州支部の活動や人のつながりをやさしく伝える場であり続けるよう、広報委員会として丁寧に取り組んでまいります。

編集後記

相変わらずに何のお役にも立てないままに、今回号のBulletinの発行を迎えましたが、集まった記事を発行に先立って拝読し、誰よりも早く楽しませて頂くという広報委員の特権は贅沢に味わわせて頂いております。建築家は職業柄みなさん文章作成を得意とされていますが、文面からその人柄や趣向が伝わり、会議でお会いするだけでは分からない一面が垣間見られ、この紙面での出会いを機に実際にお会いする事が楽しみにもなります。

それにしても・・・今回号において驚かされたことまず一つ目は、「わさもん(新入会員の紹介)」のトピックスです。「わさもん(新人)」といえど既に全国で活躍中の建築家の方々ばかりで、JIA九州支部の新人“わさもんレベル”

九州支部広報委員 小嶋 啓美

に驚きを感じたところ です。

そしてもう一つは、この度広報委員会の仲間に入って頂いた事務局の岩本さんの発想力と実行力です。4コマ漫画のスキルにもびっくり!!。ガイガイと企画を推し進めて頂いたお陰で前月号からスムーズに今回号を発行する事ができました。広報委員も素晴らしい“わさもん”を迎えましたので今後も益々お楽しみ頂きたいです。今回執筆にご協力頂いた会員の皆さまありがとうございます。そして広報委員の皆さまお疲れ様でした。今後もBulletin上での新たな出会いを楽しみにしつつ広報委員の一員としても楽しませて頂きます。

編集後記

昨年の10月にブルテンを発刊し、気持ちが少し楽になったかと思うとすぐに次のブルテンの発刊準備をしないといけなくなり・・・次のコンテンツを考えないといけいないなと思っておりましたが、事務局の岩本さんがお手伝いして下さる事になり、とてもとても助かりました！！新たな広報委員会がスタートした、初めての zoom ミーティングではたくさんのアイデアが出ました。少しずつ形にしていければより充実した読みどころのあるブルテンになるのではと思っています。今回の原稿を頂きました会員の皆様、1ヶ月ちょっとしかない時間の中で取り組んで下さりありがとうございます。大変感謝申し上げます。

九州支部広報委員 一丸 康貴

次はあなたの番かもしれませんので、会員の皆様心の準備をお願い致します。笑

ブルテンが会員同士を繋ぐ一つのツールになればとても嬉しいです。今回のブルテンがこんなに早く発刊できた事は岩本さんのお力がとても大きいです。ありがとうございます。

引き続きよろしくお祈いします！次のブルテンはもう少し動けるように頑張ります。

このようにブルテンが発刊できるのも会員の皆様の日々の活動と忙しい中での執筆があってこそです。今後ともご協力の程よろしくお祈い致します。

編集後記

この度、広報委員会へ快く仲間に入れていただき、ブルテンの編集作業のお手伝いをさせていただきました。

事務局便りと題した4コマ漫画では、作成にあたり九州支部事務局が入居する「あづまビル」の大家さんに建物について色々質問しました。突然の訪問にも関わらず、大家さんは奥の部屋から大きな青焼き図面を持ってきて、建物にまつわるおもしろいお話をたくさんしてくださいました。現在のあづまビルは事業用利用の入居者が大半です。路面のオシャレなお店が、建物を魅力的に感じさせます。あづまビルは、長い年月を経て少しずつ役割を変えながら活用され愛される建物の非常に良い例だと思います。お近くにお越しの際はぜひ事務局へお立ち寄りください。あづ

九州支部広報委員手伝い 岩本 嘉子

まビルのとっておきのエピソードをお話します。

また今回、ブルテン発行のお手伝いをして感じたのは、この作業を通常の仕事の合間に行うのはなかなか大変なことだと実感しました。広報委員の皆さん、本当にお疲れ様です。そして誌面づくりにご協力いただいた会員の皆さんもありがとうございます。作業を通して皆さんのJIAへの愛を感じました。

JIAは、建築を通して人と人をつなぐ活動だと感じています。次はあんな活動をしてみよう、こんなことを皆に伝えよう、紹介しよう、といったJIA活動を活発にしていく原動力のひとつに、ブルテンがより活用されていくことを祈っています。



つづきは次のブルテンで！？

編集後記

お待たせしました。JIA九州支部ブルテンです。え？待ってない？（このくだりが恒例にならないようコンスタントに発刊するのが目標です...）

改めまして、執筆者の皆様、突然の依頼にもかかわらずご執筆を快く引き受けて頂きありがとうございました。前回に引き続きブルテンを発刊できますのは執筆者の皆様のご協力があってこそです。皆様のご協力もあり、今回は従来のブルテンのように様々な記事が載る形となりました。今回から九州支部事務局の岩本さんがお手伝いしてくれる（全面的に岩本さんにおんぶに抱っこされる）ことになり、最終的に編集作業も担って頂きました（岩本さん、大変ありがとうございます）。岩本さんから楽しいアイデアが

九州支部広報委員 吉永 啓

たくさん出され、広報委員会メンバーも大いに刺激を受け、新たな企画も生まれました。前号の編集後記で「読んで楽しいブルテンにしていきたい」と申し上げましたが、少しだけそれに近づけたのではないかと考えています。

また、前回発刊後、いくつかのご意見を頂きました。愛読しているとおっしゃられた方もいらっしゃいます。読んで頂けるのが広報委員会の励みになります。少しずつでもより良いものになればと思いますので「読んだよ」の一言でもダメ出しでもご意見・ご感想などお気づきの点を広報委員会メンバーにお声掛け頂けるとありがたいです。

今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



2026年3月発行

編集・発行：(公社)日本建築家協会九州支部 広報委員会